



Part No: 12001-AH005

HONDA S2000 (AP1)

取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	GTスーパーチャージャーシステム プロキット
用 途	自動車専用部品
コード No. と対応年式	12001-AH005 1999/4~2005/10 ※タイプV未確認
取付説明書品番	E04215-H44010-00 Ver.3-3.01
メーカー車種	ホンダ S2000 (AP1)
エンジン型式	F20C



備 考

※燃料は必ずハイオクを使用してください。

- ・本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。
- ・走行時には水温、油温等の管理をしてください。

○本製品は、HKS GTスーパーチャージャー本体保証（以下 本体保証）が適用されます。

○本製品は、下記指定部品との組合せで使用してください。

- ・指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

プロキット指 定 部 品

触媒	純正またはHKS メタルキャタライザー
マフラー	純正またはHKS スーパーサウンドマスターまたはHKS サイレントハイパワー
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M45i 以上
エンジンオイル	HKS エンジンオイルシリーズ 高温粘度 42 以上

○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件

エンジン最大回転数の引き上げ、またはプーリー変更により、インペラ回転数を指定回転数以上で使用した場合。（インペラ回転数 最大 110,000rpm）

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2012/05	初版

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	3
パーツリスト	4
1. ノーマルパーツ取外し	8
2. トラクションフルードクーラー取付け	11
3. GTスーパーチャージャー取付け	18
4. インタークーラー・パイピング取付け	32
5. ノーマルパーツ取付け	47
6. トラクションフルード注入	48
7. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整	49

はじめに

この度は、HKS GTスーパーチャージシステムをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。
制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセッティングしてご使用ください。
安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。
取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。
本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合（人損）

拡大物損の発生が想定される場合

（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害（例えば車両の破損及び焼損））

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	スーパーチャージャー本体 Assy	1	GTS7040
2	トラクションフルードフィルター	1	
3	トラクションフルードタンク	1	
4	トラクションフルード	1	
5	トラクションフルードクーラー	1	
6	アイドラプーリー	2	
7	クランクプーリー	1	
8	S/C 用クランクプーリー	1	
9	スーパーチャージャー本体プーリー	1	φ120
10	ベルト	1	6PK1310
11	インタークーラー	1	
12	リリーフバルブ Assy	1	
13	スーパーパワーフローリローデッド	1	φ150-60 赤
14	ホース φ4	2	1000mm
15	ホース φ8	1	3000mm
16	ホース φ10	1	1250mm
17	ホース φ12	1	
18	ホース φ22	1	1000mm
19	スリーウェイ φ4-φ4-φ4	1	
20	スリーウェイ φ22-φ19-φ22	1	
21	コルゲートチューブ φ8 用	1	
22	コルゲートチューブ φ10 用	1	
23	コルゲートチューブ φ12 用	1	
24	コルゲートチューブ φ22 用	1	
25	インタークーラーインレットパイプ No,1	1	
26	インタークーラーインレットパイプ No,2	1	
27	インタークーラーアウトレットパイプ No,1	1	

28	インタークーラーアウトレットパイプ No,2	1	
29	インタークーラーアウトレットパイプ No,3	1	
30	サクシヨンパイプ	1	
31	ジョイントパイプ $\phi 8$	1	
32	スーパーチャージャーブラケット No,1	1	
33	スーパーチャージャーブラケット No,2	1	
34	スーパーチャージャーブラケット No,3	1	
35	スーパーチャージャーブラケット No,4	1	リストラクター $\phi 37.5$
36	テンショナーブラケット	1	
37	トラクシヨンフルードタンクブラケット No.1	1	
38	トラクシヨンフルードタンクブラケット No.2	1	
39	トラクシヨンフルードフィルターブラケット	1	
40	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No.1	1	
41	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No.2	1	
42	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No.3	1	
43	インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
44	インタークーラーアウトレットパイプブラケット	1	
45	インタークーラーブラケット No.1	1	
46	インタークーラーブラケット No.2	1	
47	2次エアセンサーブラケット	1	
48	ABS モジュレータブラケット	2	
49	汎用パイプブラケット $\phi 60$ 用	4	
50	サクシヨンパイプガasket	2	
51	インシュレーターラバー	4	
52	シリコンホース $\phi 50$ L=55	1	
53	シリコンホース $\phi 55$ L=43	1	
54	シリコンホース $\phi 60$ L=55	1	
55	シリコンホース $\phi 60$ L=70	3	
56	シリコンホース $\phi 70$ L=20	2	

57	シリコンホース φ70 L=70	1	
58	クッションホース φ60 L=75	2	
59	スペーサー M6 L=3	3	
60	スペーサー M6 L=4	2	
61	スペーサー M6 L=10	4	
62	スペーサー M6 L=32	2	
63	スペーサー M8 L=10	3	
64	スペーサー M10 L=7.5	1	
65	スペーサー M10 L=10	1	
66	スペーサー M10 L=32	1	
67	ホースクリップ φ8 用	3	
68	ホースクリップ φ10 用	2	
69	ホースクリップ φ12 用	2	
70	ホースクリップ φ22 用	4	
71	ホースバンド #28	2	
72	ホースバンド #36	16	
73	ホースバンド #40	4	
74	スタッドボルト M10 10-6-20	1	
75	六角ボルト M6 L=15	6	
76	六角ボルト M6 L=25	6	
77	六角ボルト M6 L=30	4	
78	六角ボルト M8 L=15	6	
79	六角ボルト M8 L=20	2	
80	キャップボルト M5 L=15	6	
81	キャップボルト M6 L=12	5	ローヘッドタイプ
82	キャップボルト M6 L=60	2	
83	キャップボルト M6 L=80	2	
84	キャップボルト M8 L=20	1	
85	キャップボルト M8 L=65	2	

86	キャップボルト M10 L=25	1	P=1.5
87	キャップボルト M10 L=25	2	P=1.25
88	キャップボルト M10 L=50	2	
89	キャップボルト M10 L=80	1	
90	皿ボルト M8 L=35	3	
91	スプリングワッシャー M8	4	
92	ワッシャー M5	6	
93	ワッシャー M6	3	
94	ワッシャー M8	5	
95	ワッシャー M10	6	
96	大径ワッシャー M6	19	
97	大径ワッシャー M8	7	
98	ナット M6	2	
99	フランジナット M6	5	
100	フランジナット M8	4	
101	フランジナット M10	3	セレート有
102	フランジナット M10	2	セレート無
103	スポンジシート	3	
104	タイラップ 大	10	
105	タイラップ 中	15	
106	タイラップ 小	20	
107	取扱説明書	1	S/C キット用
108	取付説明書	1	S/C キット用

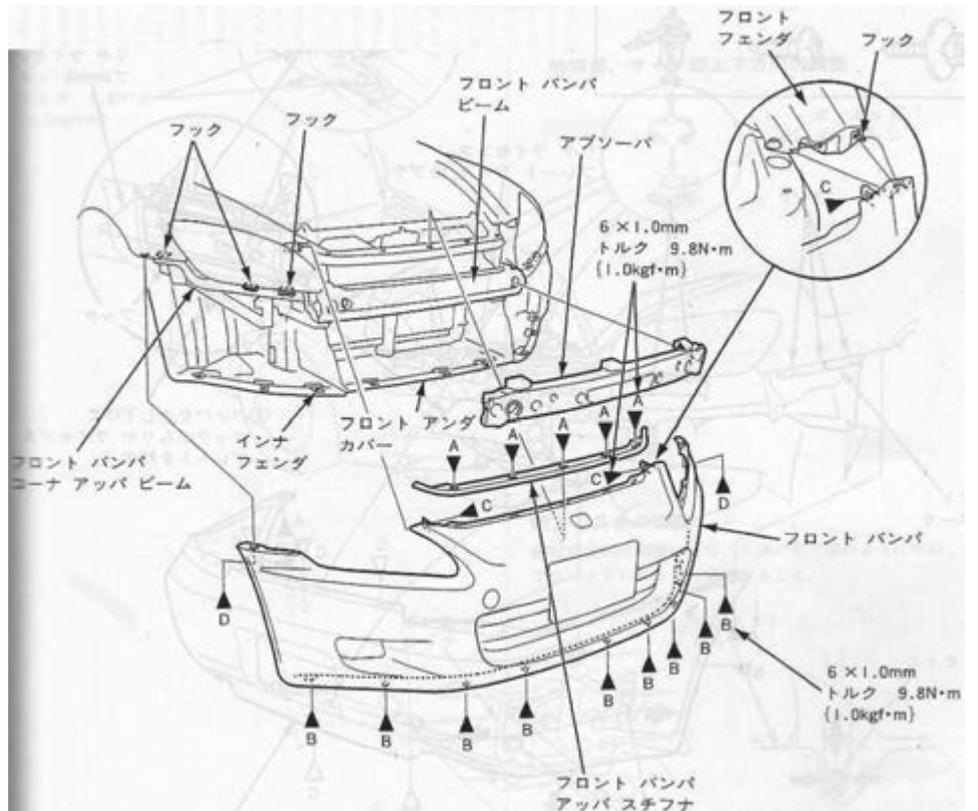
1. ノーマルパーツ取外し

整備要領書に従って作業を行なう。

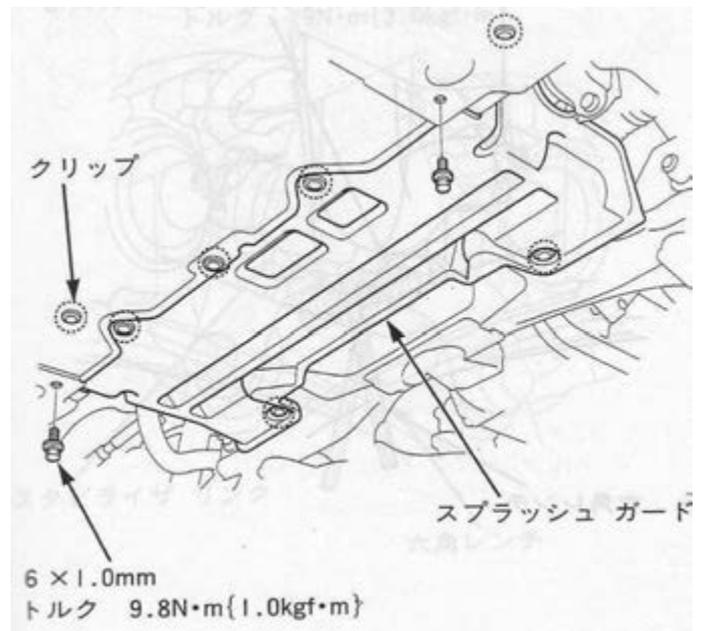
(1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。

(2) フロントバンパーを取外す。

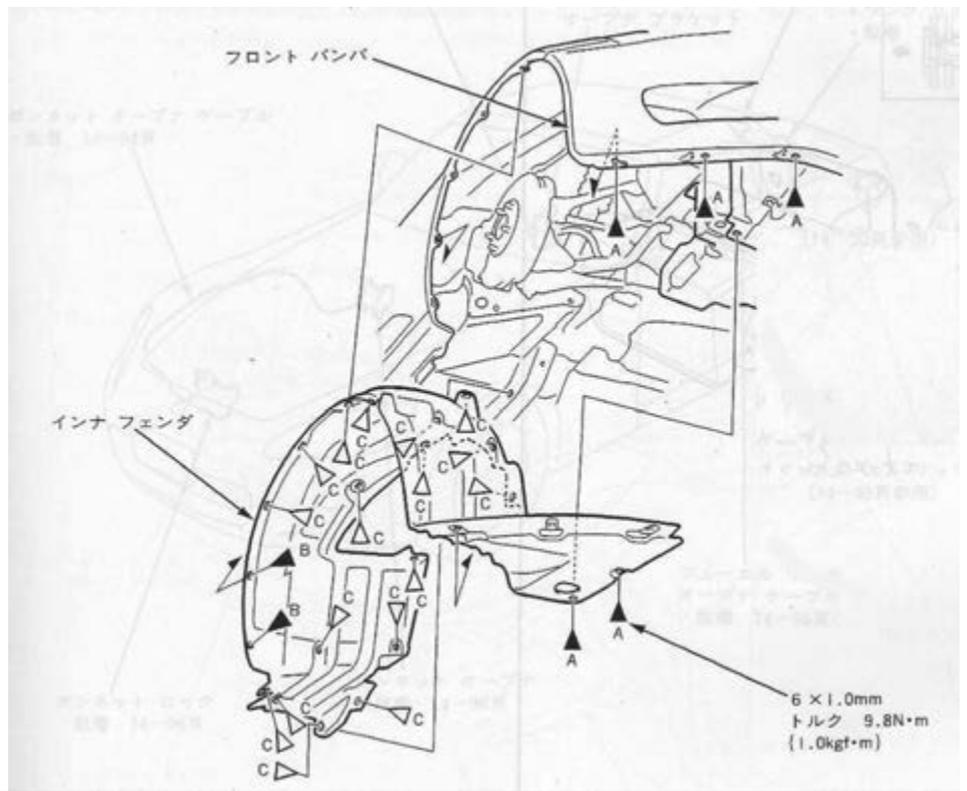
(3) フロントアンダカバーを取外す。



(4) スプラッシュガードを取外す。

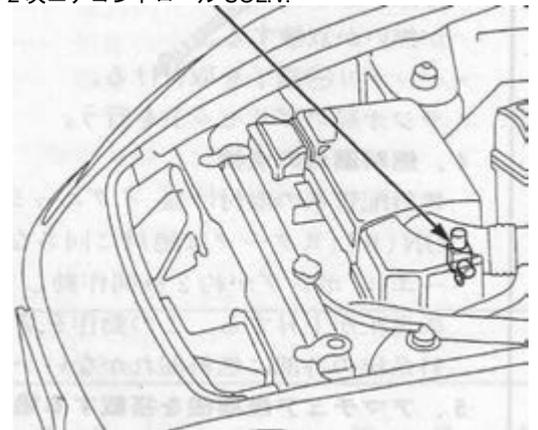


(5) インナフェンダ R/L を取外す。



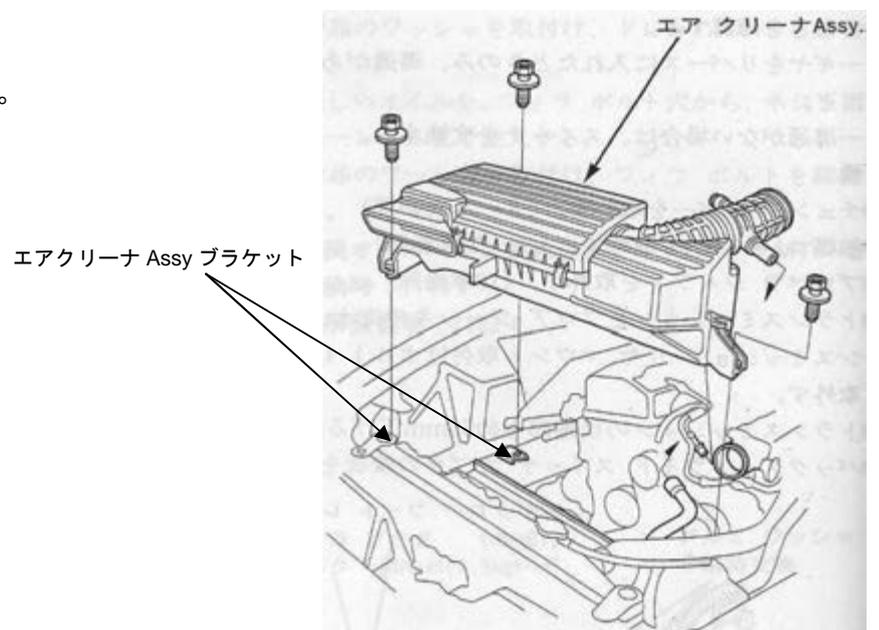
(6) 2次エアコントロール SOL.V.をエアクリーナ Assy から取外す。

2次エアコントロール SOL.V.



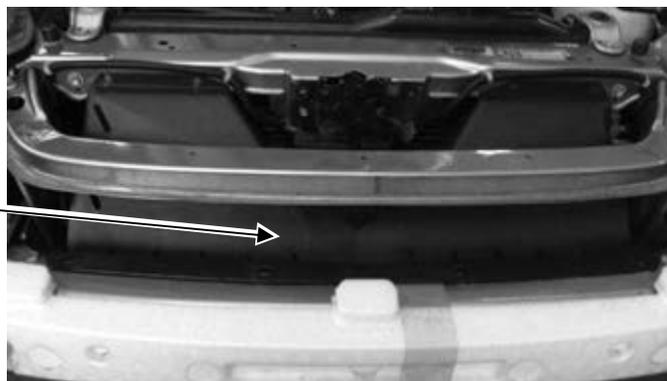
(7) エアクリーナ Assy を取外す。

(8) エアクリーナ Assy ブラケットを取外す。



(9)フロントエアガイドを取外す。

フロントエアガイド



(10)クランクプーリーを取外し、同封のクランクプーリーに付け替える。

アドバイス

- ・廻り止めにはホンダ純正専用工具を使用する。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=245 (25.0)



P67	ホースクリップ φ8 用	3
P68	ホースクリップ φ10 用	2
P73	ホースバンド #40	2
P75	六角ボルト M6 L=15	2
P76	六角ボルト M6 L=25	2
P78	六角ボルト M8 L=15	3
P79	六角ボルト M8 L=20	1
P94	ワッシャー M8	1
P96	大径ワッシャー M6	4
P97	大径ワッシャー M8	4
P99	フランジナット M6	1
P100	フランジナット M8	3



注意

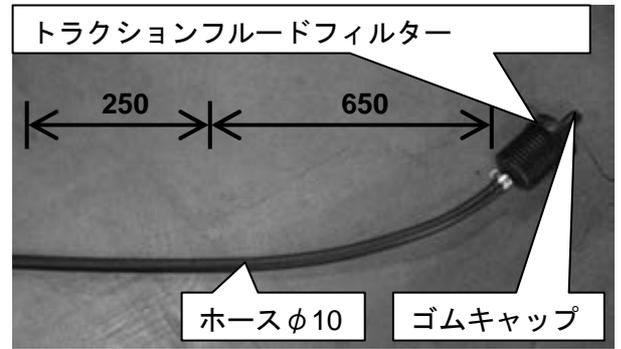
スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。
 トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
 トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
 作業を行ってください。

(1)ホースφ8を1000mmと1350mmに切断する。

(2)ホースφ10を250mmと650mmに切断する。

アドバイス

・ホースφ10は梱包時にオイルフィルターエレメントに接続してある為、取り外さずに、ホースの接続してある口から650mm・250mmを切断する。



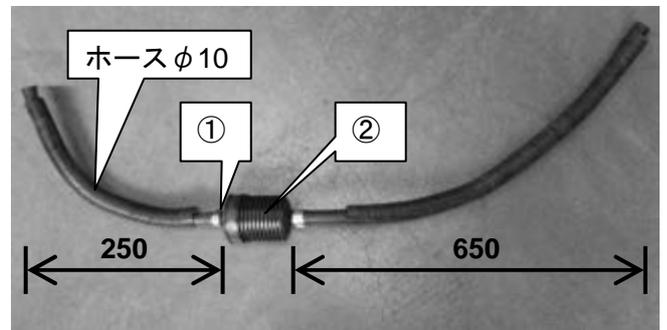
(3)トラクションフルードフィルターについているゴムキャップを取外す。

(4)コルゲートチューブφ8用を950mmと1300mmに切断し、ホースφ8に取付ける。

(5)コルゲートチューブφ10用を200mmと600mmに切断し、ホースφ10に取付ける。

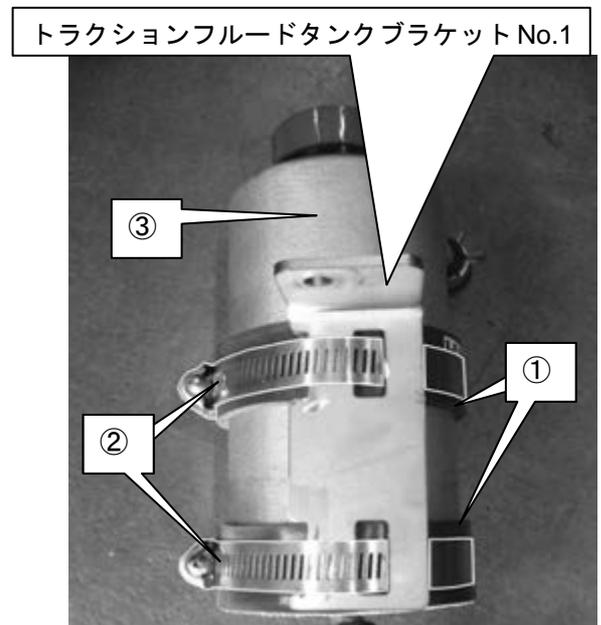
(6)ホースφ10を

- ①ホースクリップφ10用を用い、
- ②トラクションフルードフィルターに取付ける。



(7)トラクションフルードタンクブラケットを、

- ①シリコンホース φ70 L=20
 - ②ホースバンド #40
- を用い、
- ③トラクションフルードタンク
- に取付ける。



(8)トラクションフルードタンク Assy 下部ニップルの
ゴムキャップを外し、

①ホースクリップφ10用

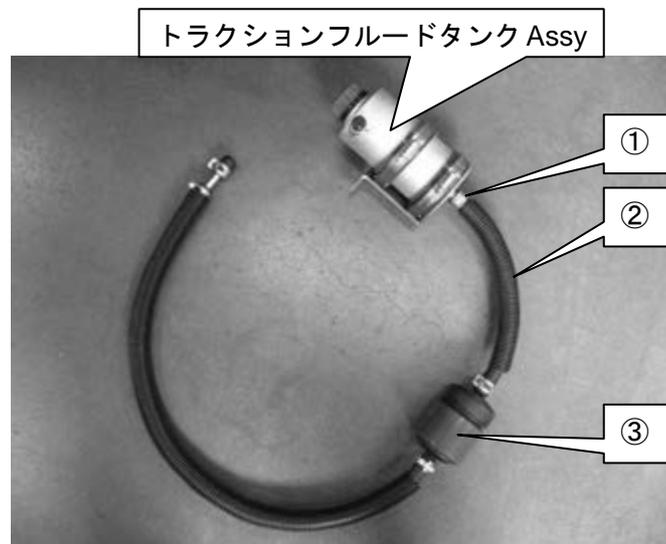
を用い、

②ホース φ10Assy

と接続する。

(9)トラクションフルードフィルターに

③シリコンホースφ55 L=43 を取付ける。



(10)トラクションフルードタンク Assy を

①トラクションフルードタンクブラケット No.2

②六角ボルト M6 L=15

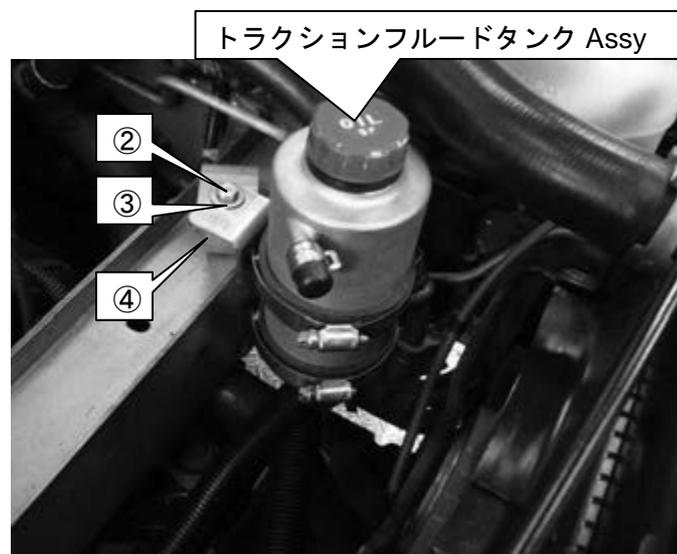
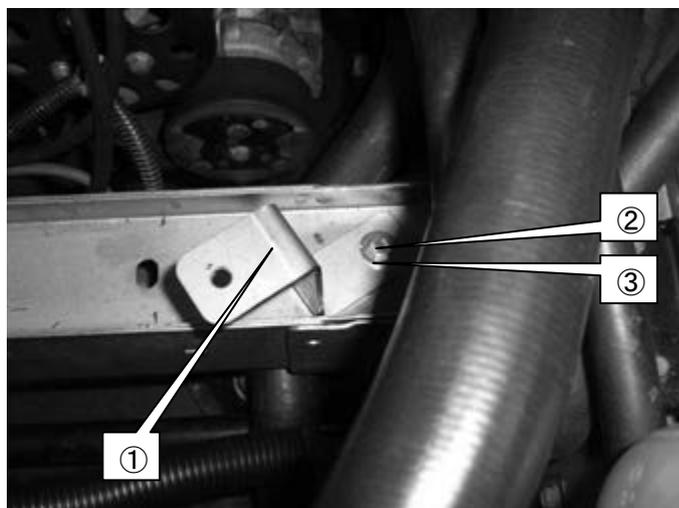
③大径ワッシャー M6

④フランジナット M6

を用い、車両に取付ける。

アドバイス

- ・トラクションフルードタンクブラケット No.2 は上下があります。
長さの長いほうを下側に向けて取付けてください。



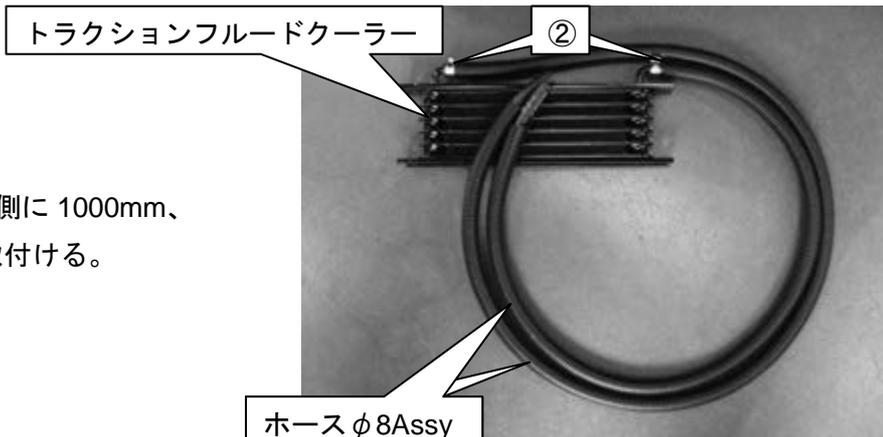
(11) トラクションフルードクーラーに

①ホースクリップφ8用

を用い、ホースφ8Assy を取付ける。

アドバイス

- ・図内トラクションフルードクーラー右側に 1000mm、
左側に 1350mm のホースφ8Assy を取付ける。



(12)トラクションフルードクーラーAssyに

①六角ボルト M8 L=15

②大径ワッシャー M8

③フランジナット M8

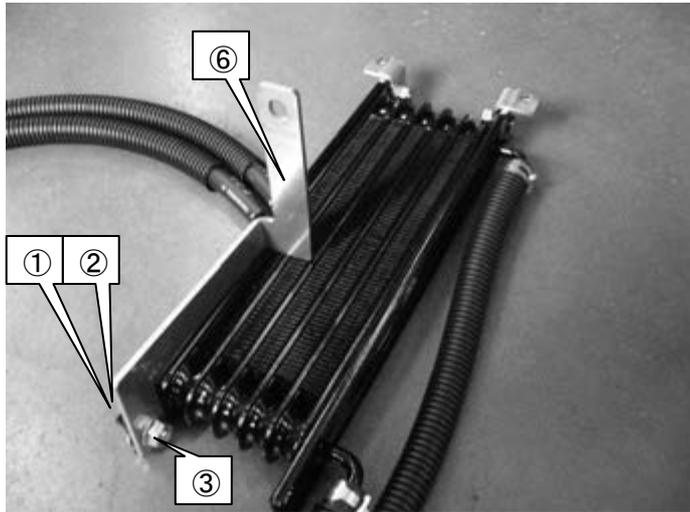
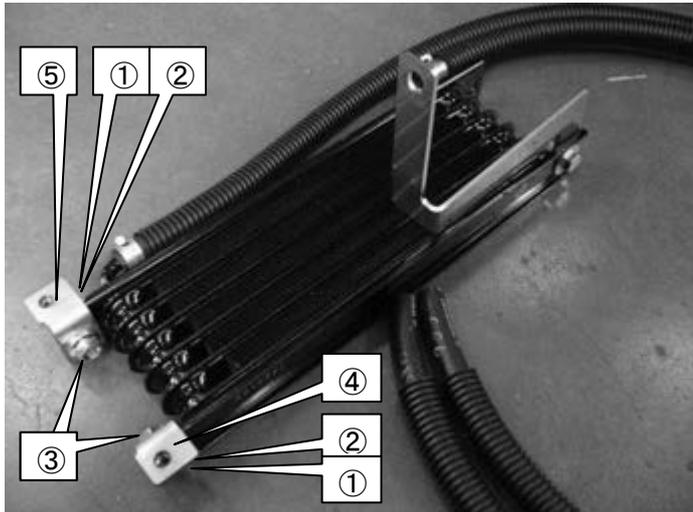
を用い、

④トラクションフルードクーラーブラケット No.1

⑤トラクションフルードクーラーブラケット No.2

⑥トラクションフルードクーラーブラケット No.3

を取付ける



(13)エアコンレシーバタンクを車両から取外し、
ブラケットを図のように曲げ加工して
再度エアコンレシーバタンクを車両に取付ける。

(14)ホーンを車両から取外し、

①六角ボルト M8 L=20

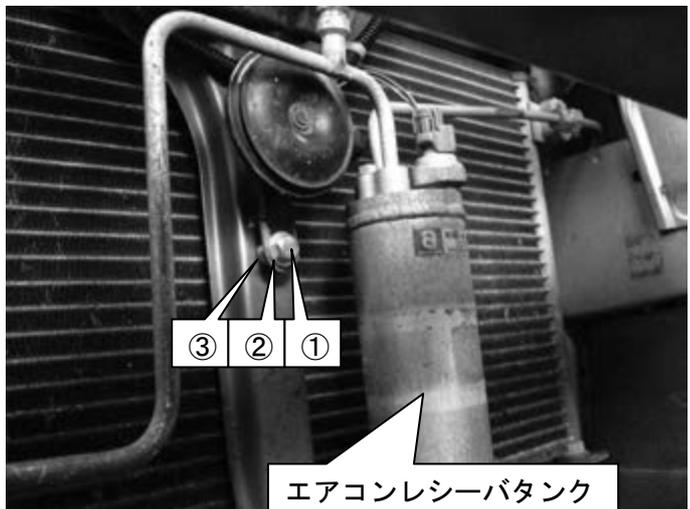
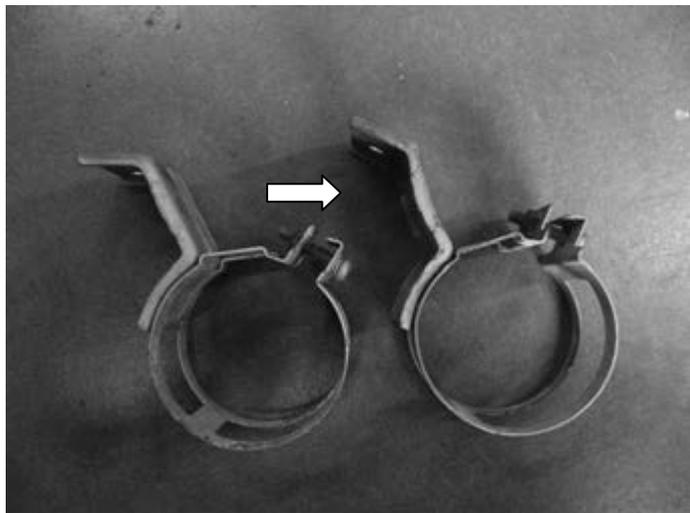
②ワッシャー M8

③スペーサー M8 L=10

を用い、図のように取付ける。

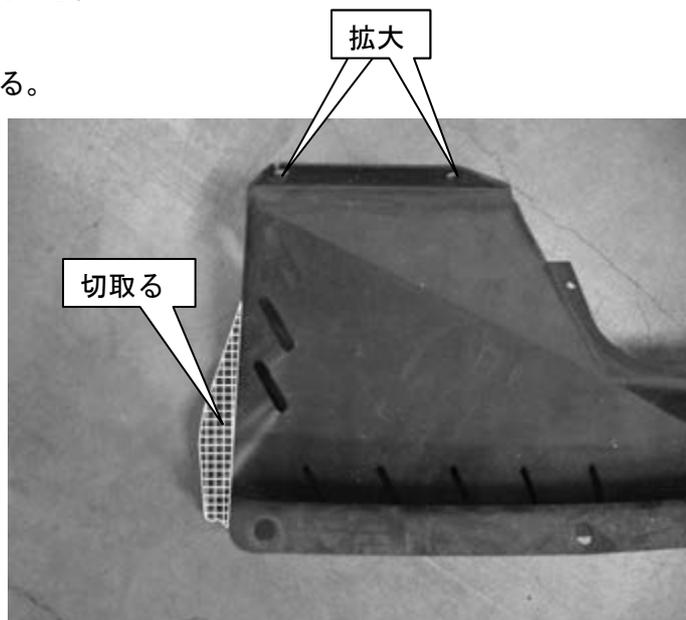
アドバイス

・ホーンはボディーアースをしているため、
取付け後、ホーンが鳴ることを確認する。



(15)フロントエアガイドの図のメッシュ部分を左右共に切取る。

(16)フロントエアガイドの図の2つの穴をφ11に拡大する。



(17)フロントエアガイドを図のように
ラジエーターコアサポートの前方に通しておく。



(18) トラクションフルードクーラー-Assy を

①六角ボルト M6 L=25

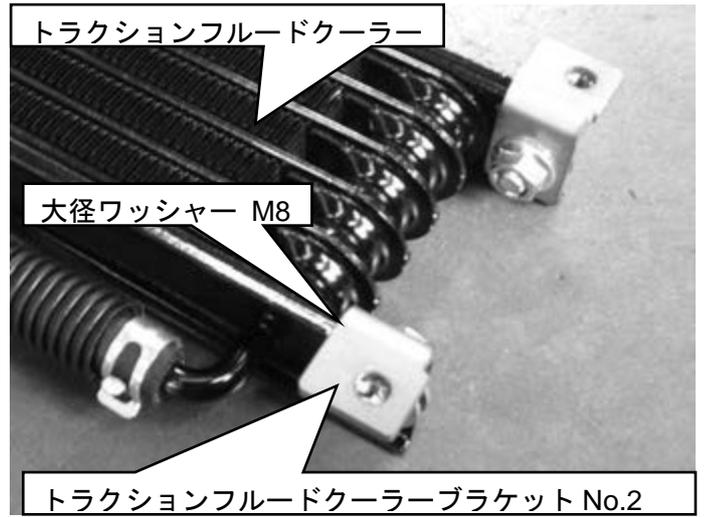
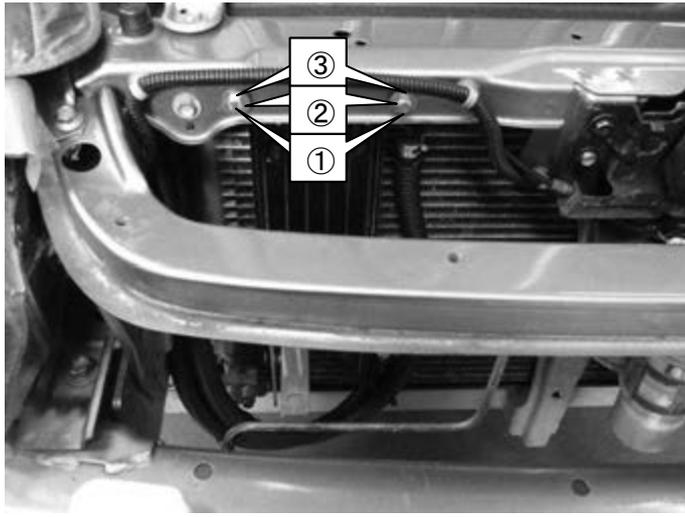
②大径ワッシャー M6

③スペーサー M6 L=4

を用い、車両に仮付けする。

アドバイス

・車両側の穴位置とトラクションフルードクーラーブラケットの穴位置が合わない場合、トラクションフルードクーラーブラケット No.2 とトラクションフルードクーラーの間に同封の大径ワッシャー M8 を挟み、穴位置を調整する。



(19) トラクションフルードクーラー-Assy のホースφ8 をラジエーター横からエンジンルーム内に引き込む。

(20) トラクションフルードタンクと

1350mm のホースφ8 を

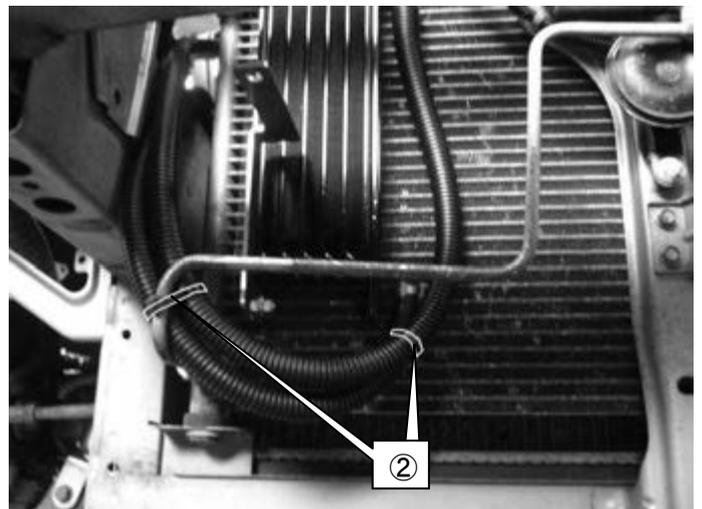
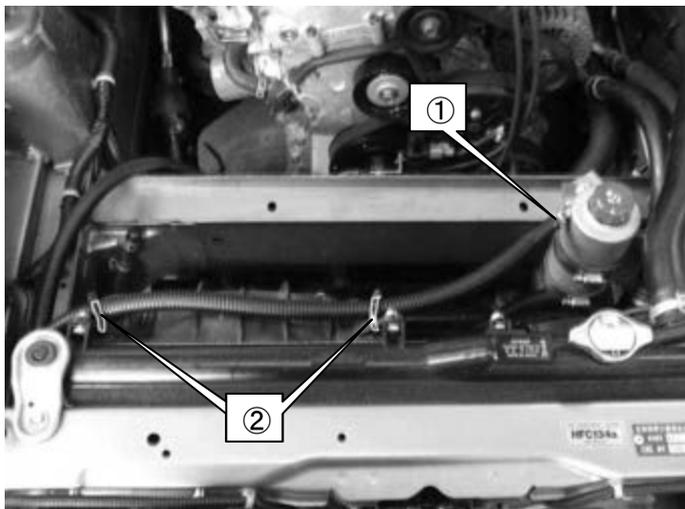
①ホースクランプ φ8 用

を用い、接続する。

(21) ホースφ8 の図の部分

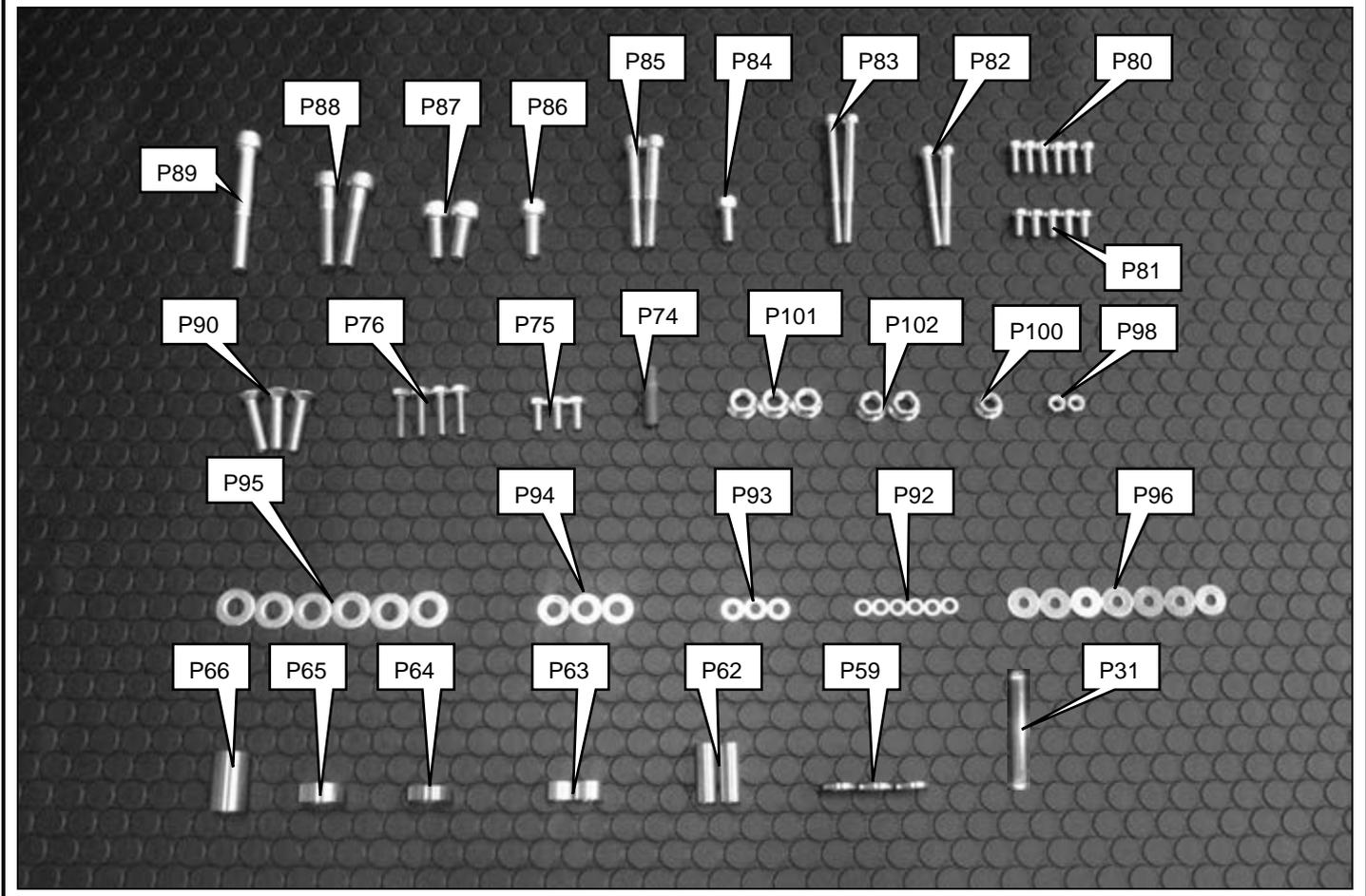
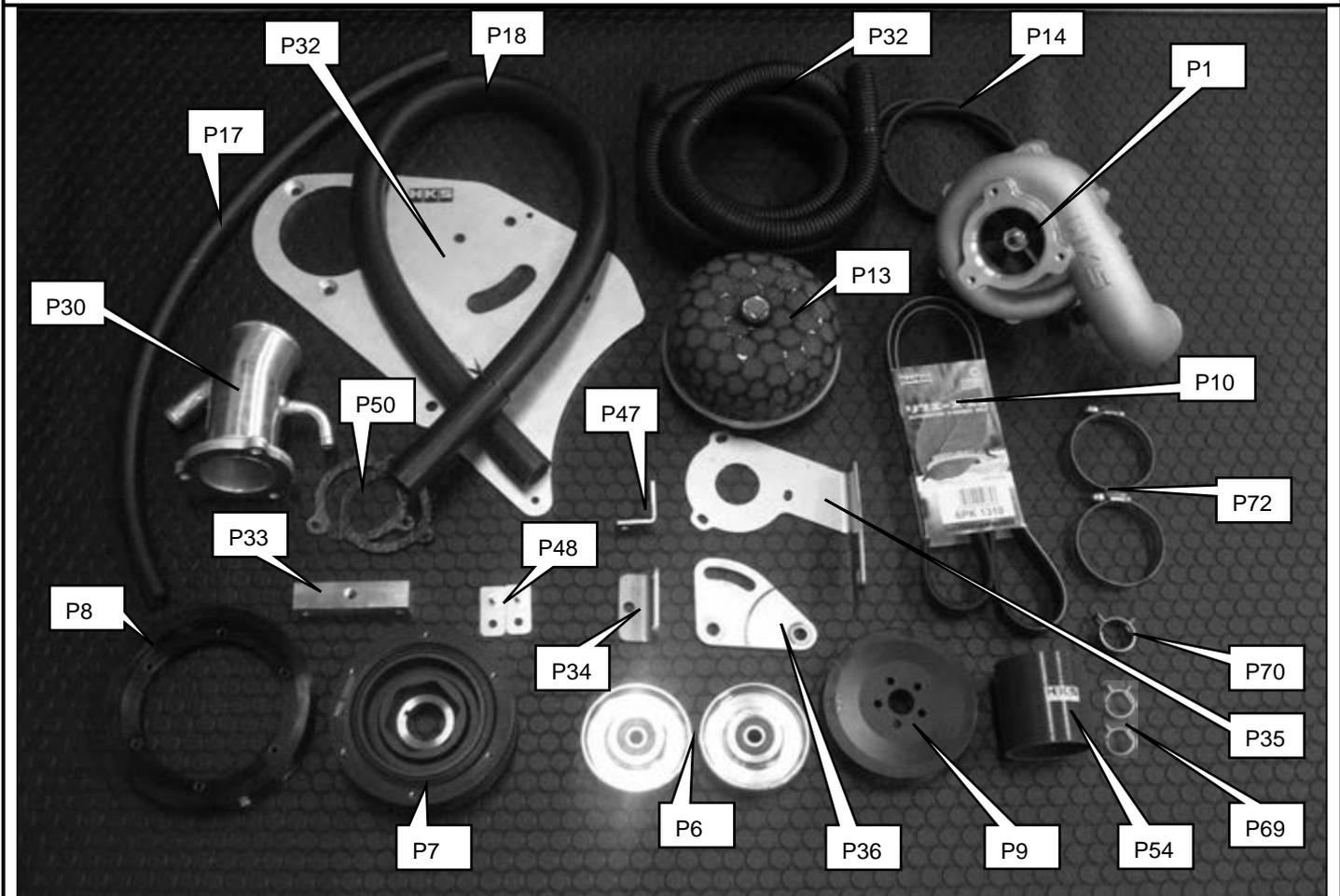
②タイラップ大

を用い、固定する。



3. GTスーパーチャージャー取付け

パーツリスト



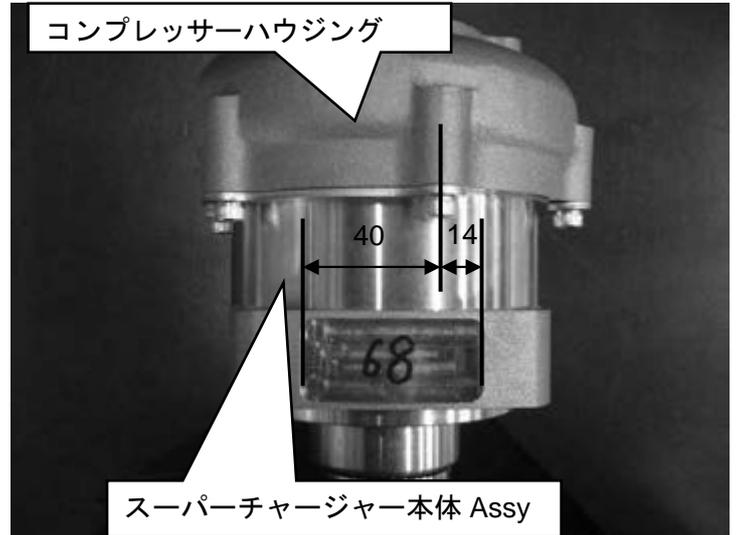
No.	品名	数量
P1	スーパーチャージャー本体 Assy	1
P6	アイドラプーリー	2
P7	クランクプーリー	1
P8	S/C 用クランクプーリー	1
P9	スーパーチャージャー本体プーリー	1
P10	ベルト	1
P13	スーパーパワーフローリローデッド	1
P14	ホース φ4	1
P17	ホース φ12	1
P18	ホース φ22	1
P23	コルゲートチューブ φ12 用	1
P30	サクシヨンパイプ	1
P31	ジョイントパイプ φ8	1
P32	スーパーチャージャーブラケット No.1	1
P33	スーパーチャージャーブラケット No.2	1
P34	スーパーチャージャーブラケット No.3	1
P35	スーパーチャージャーブラケット No.4	1
P36	テンションナーブラケット	1
P47	2次エアセンサーブラケット	1
P48	ABS モジュレータブラケット	2
P50	サクシヨンパイプガasket	2
P54	シリコンホース φ60 L=55	1
P59	スペーサー M6 L=3	3
P62	スペーサー M6 L=32	2
P63	スペーサー M8 L=10	2
P64	スペーサー M10 L=7.5	1
P65	スペーサー M10 L=10	1
P66	スペーサー M10 L=32	1
P69	ホースクリップ φ12 用	2
P70	ホースクリップ φ22 用	1
P72	ホースバンド #36	2
P74	スタッドボルト M10 10-6-20	1
P75	六角ボルト M6 L=15	3
P76	六角ボルト M6 L=25	4
P80	キャップボルト M5 L=15	6
P81	キャップボルト M6 L=12	5
P82	キャップボルト M6 L=60	2
P83	キャップボルト M6 L=80	2
P84	キャップボルト M8 L=20	1

P85	キャップボルト M8 L=65	2
P86	キャップボルト M10 L=25(P=1.5)	1
P87	キャップボルト M10 L=25(P=1.25)	2
P88	キャップボルト M10 L=50	2
P89	キャップボルト M10 L=80	1
P90	皿ボルト M8 L=35	3
P92	ワッシャー M5	6
P93	ワッシャー M6	3
P94	ワッシャー M8	3
P95	ワッシャー M10	6
P96	大径ワッシャー M6	7
P98	ナット M6	2
P100	フランジナット M8	1
P101	フランジナット M10(セレート有)	3
P102	フランジナット M10(セレート無)	2

(1)スーパーチャージャー本体 Assy の
コンプレッサーハウジングが図内寸法の角度に
なっていることを確認する。

アドバイス

コンプレッサーハウジングの固定ボルトに工具を
差し込むと計測しやすくなります。



(2)S/C 用クランクプーリーを

①キャップボルト M5 L=15

②ワッシャー M5

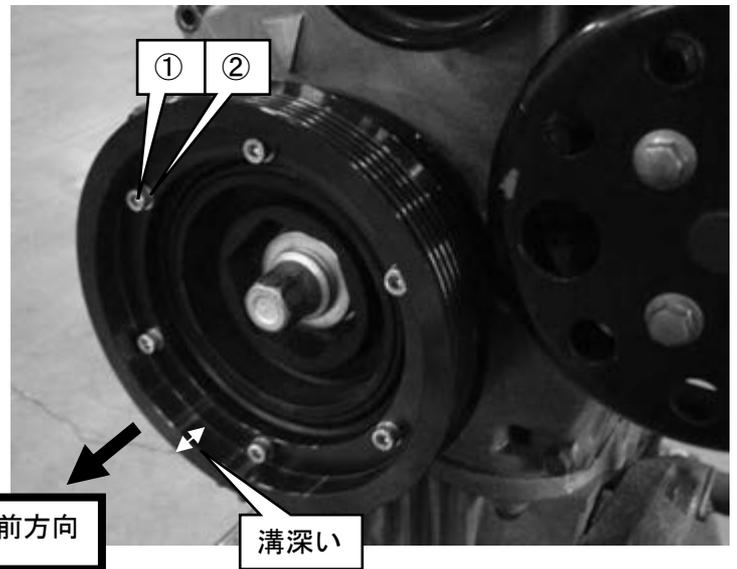
を用い、それぞれ6か所
クランクプーリーに取付ける。

アドバイス

・S/C 用クランクプーリーには表裏があります。
溝の深いほうが車両前方向に来るように
取付けてください。

締付けトルク N·m(kgf·m)

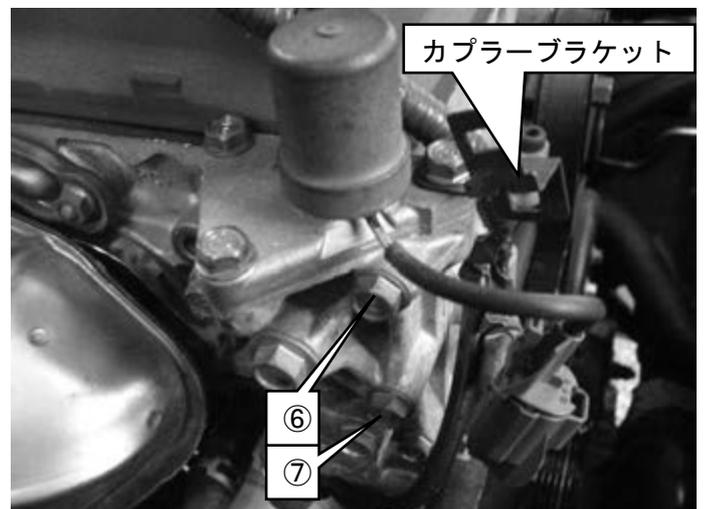
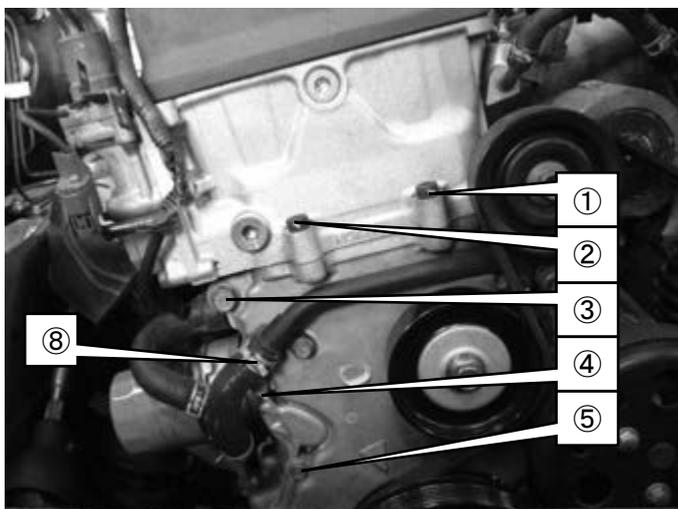
T=10 (1.02)



(3)図の①②③④⑤⑥⑦のボルトを取外す。

(4)図の⑧のホースクリップのつまみ部分が上向きになるように角度を変える。

(5)図のカプラーブラケットを取外す。



(6)スーパーチャージャーブラケット No.1に

- ①キャップボルト M10 L=50
- ②ワッシャー M10
- ③スペーサー M10 L=10
- ④フランジナット M10

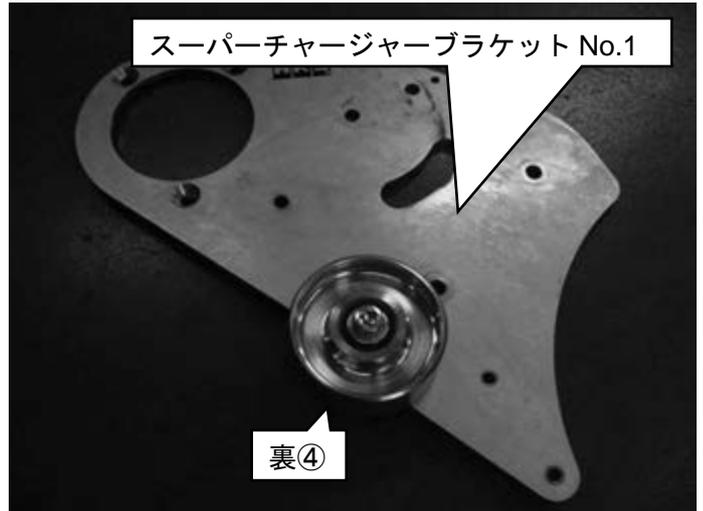
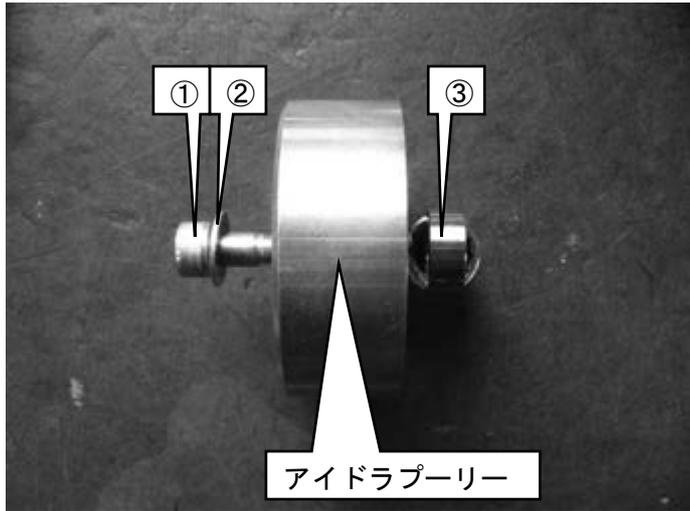
を用い、アイドラプーリーを取付ける。

アドバイス

・アイドラプーリーには表裏があります。
Cリングのついている側がスーパーチャージャーブラケット No.1 側に来るように取付けてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)



(7)テンショナーブラケットに

- ①キャップボルト M10 L=50
- ②ワッシャー M10
- ③スペーサー M10 L=7.5
- ④フランジナット M10

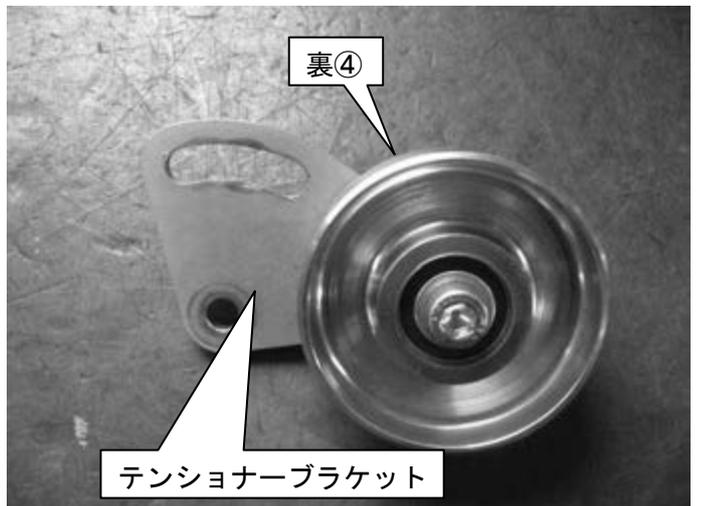
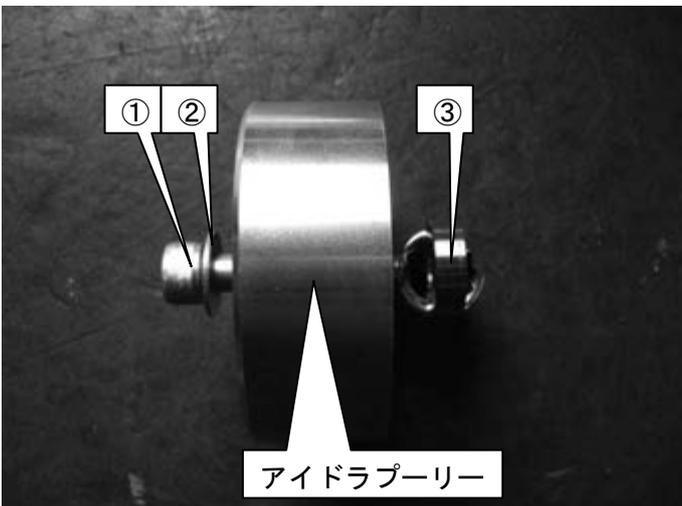
を用い、アイドラプーリーを取付ける。

アドバイス

・アイドラプーリーには表裏があります。
Cリングのついている側がテンショナーブラケット側に来るように取付けてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)



(8)スーパーチャージャーブラケット No.2 を

①キャップボルト M8 L=65

②ワッシャー M8

③スペーサー M8 L=10

を用い、エンジンに仮付けする。

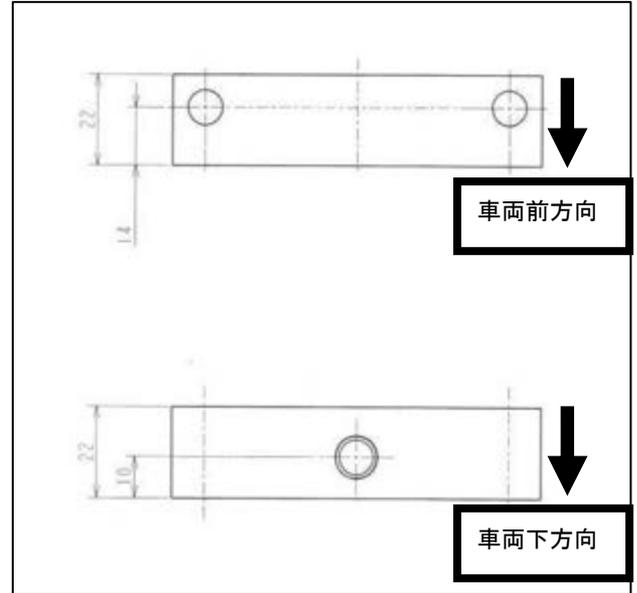
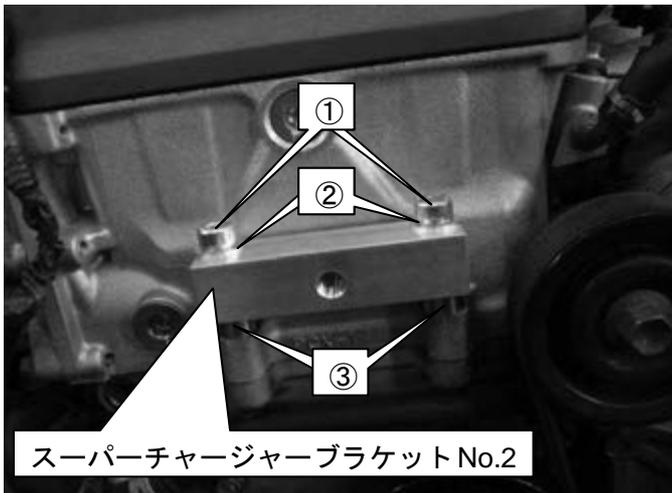
アドバイス

・スーパーチャージャーブラケット No.2 には表裏があります。

図を参照し取付けてください。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=24 (2.45)



(9)スーパーチャージャーブラケット No.3 を

①キャップボルト M6 L=60

②大径ワッシャー M6

を用い、スプールソレノイドバルブに仮付けする。

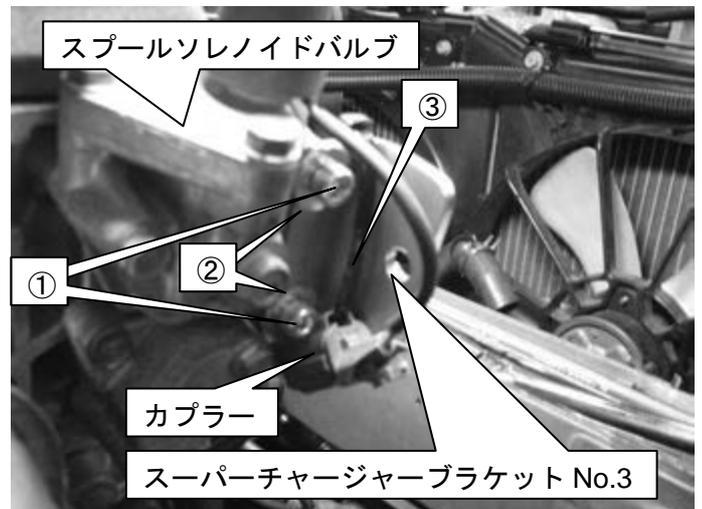
本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15 (1.5)

(10)カプラーを

③タイラップ大

を用い、スーパーチャージャーブラケット No.3 に固定する。



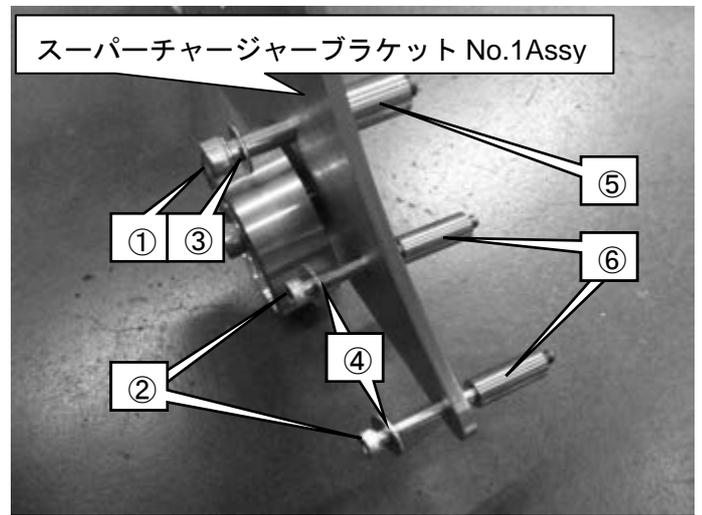
(11)スーパーチャージャーブラケット No.1Assy を

- ①キャップボルト M10 L=80
- ②キャップボルト M6 L=80
- ③ワッシャー M10
- ④大径ワッシャー M6
- ⑤スペーサー M10 L=32
- ⑥スペーサー M6 L=32

を用い、エンジンに仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

- ・ M10 T=44(4.5)
- ・ M6 T=15(1.5)



(12)スーパーチャージャーブラケット No.1Assy を

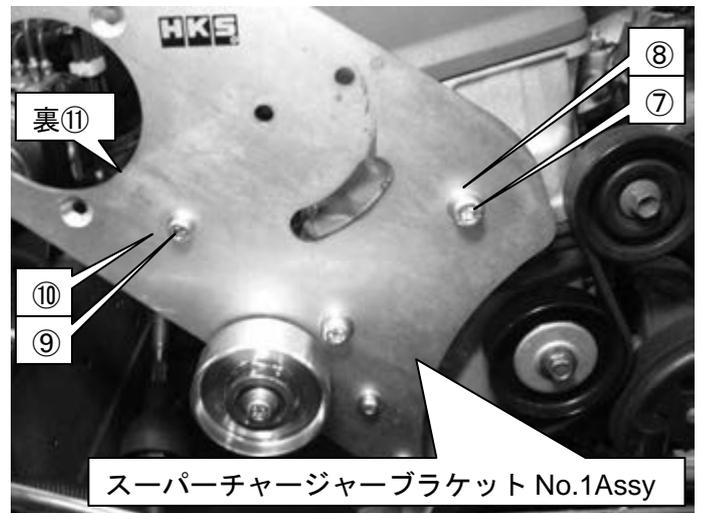
- ⑦キャップボルト M10 L=25 (P1.5)
- ⑧ワッシャーM10

を用い、

スーパーチャージャーブラケット No.2 と仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44(4.5)



(13) スーパーチャージャーブラケット No.1Assy を

- ⑨キャップボルト M8 L=20
- ⑩ワッシャー M8
- ⑪フランジナット M8

を用い、

スーパーチャージャーブラケット No.3 と仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

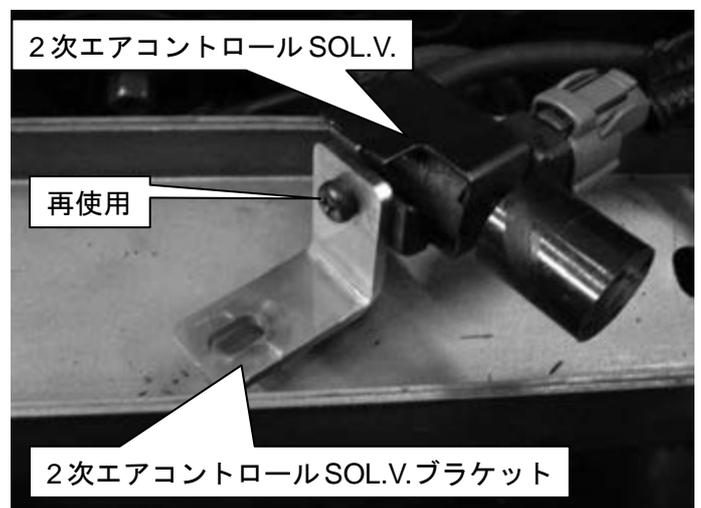
T=24(2.45)

(14)スーパーチャージャーブラケット No.1・スーパーチャージャーブラケット No.2・

スーパーチャージャーブラケット No.3 の仮付け部を、バランスを見ながら上記の締付けトルクで本付けする。

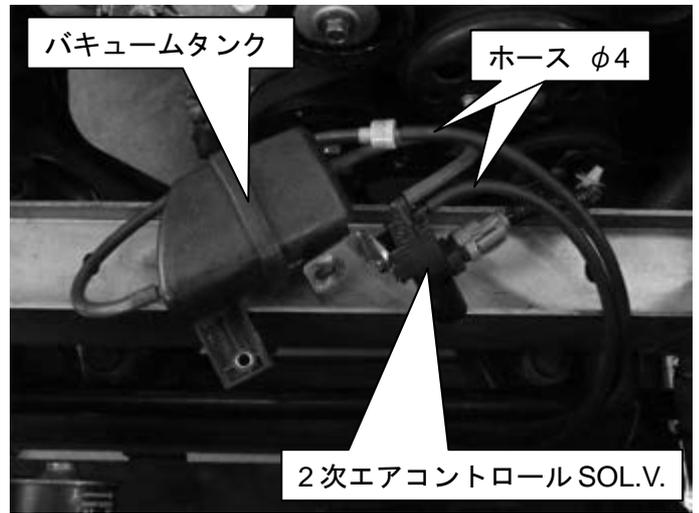
(15) 2次エアコントロール SOL.V.に

2次エアコントロール SOL.V.ブラケットを取付ける。



(16)車両からバキュームタンクを取外す。

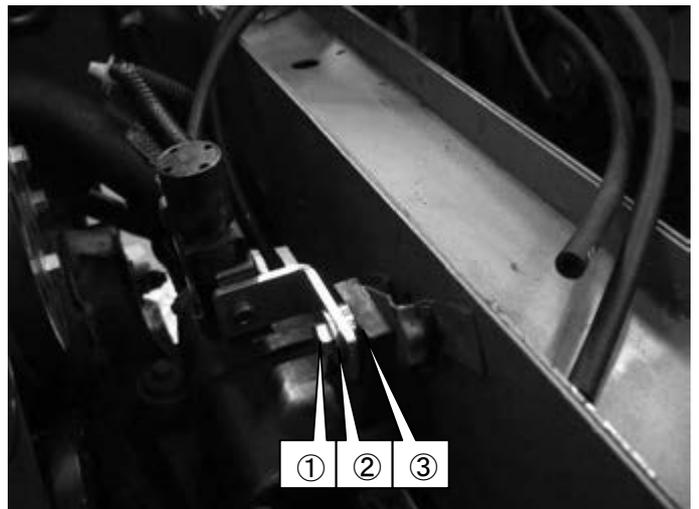
(17)ホース φ4 を半分(L=500)に切断し、図のように2次エアコントロール SOL.V.・バキュームタンクにそれぞれ接続する。



(18)2次エアコントロール SOL.V.・バキュームタンクを、
①六角ボルト M6 L=25
②大径ワッシャー M6
③スペーサー M6 L=3
を用いて、車両に取付ける。

アドバイス

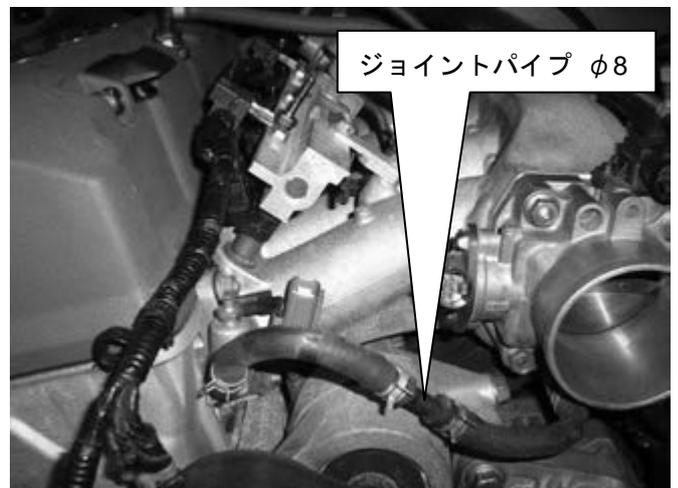
・ホース・配線がクランクプーリー等の回転物に触れないようにタイラップを用いて固定する。



(19)ブリーザーパイプ Assy を取外し、
①ジョイントパイプφ8 を用い、図のように接続する。

アドバイス

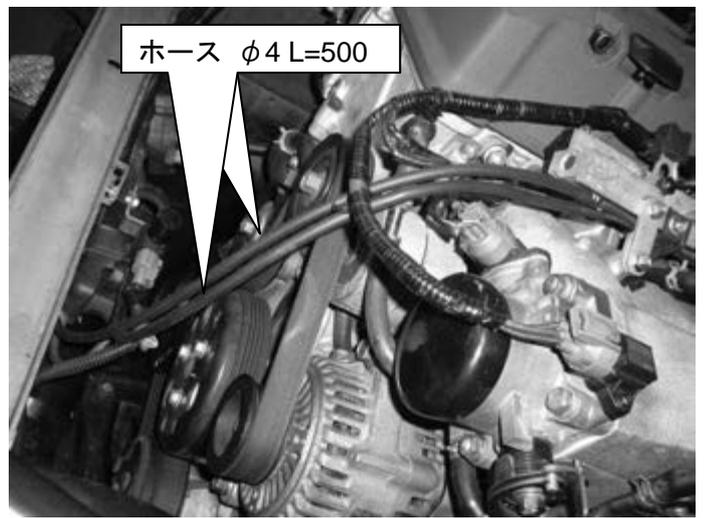
・ホースクリップは純正を再使用する。



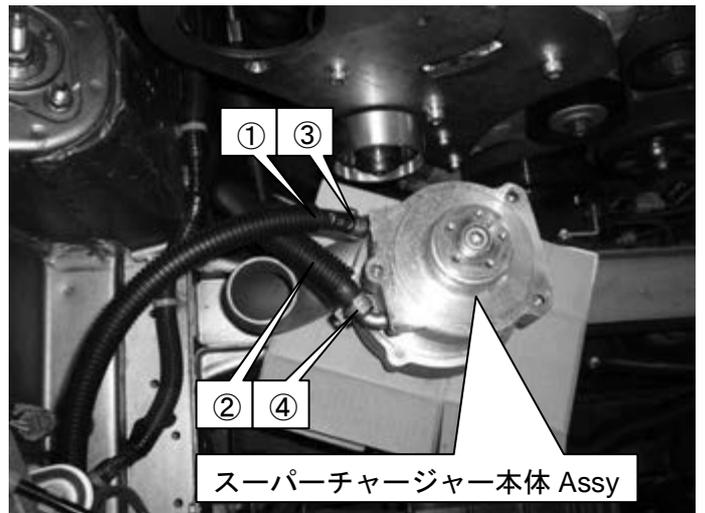
(20) 2次エアコントロール SOL.V.・バキュームタンクに取付けたホース $\phi 4$ L=500 を、
図のようにエンジンに接続する。

アドバイス

・エンジン側上パイプに2次エアコントロール SOL.V.
エンジン側下パイプにバキュームタンクのホースを
接続する。



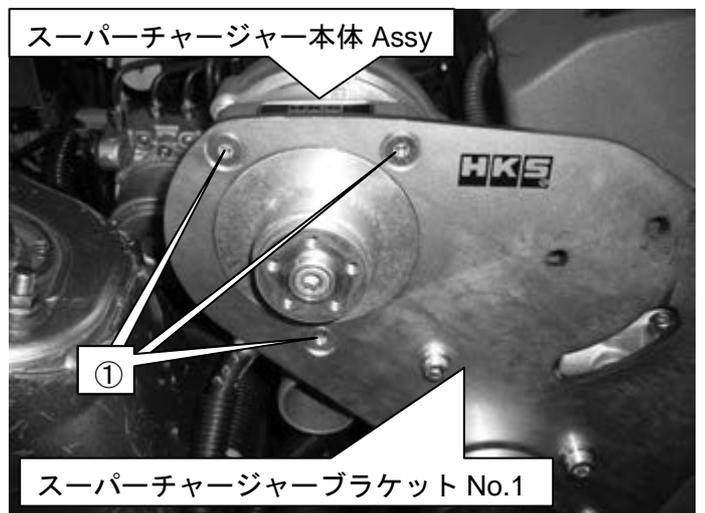
(21)①ホース $\phi 8$ L=1000
②ホース $\phi 10$ L=650 を
スーパーチャージャー本体 Assy から取外した
③ホースクリップ $\phi 8$ 用
④ホースクリップ $\phi 10$ 用
を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に接続する。



(22)スーパーチャージャー本体 Assy を、
①皿ボルト M8 L=35
を用い、
スーパーチャージャーブラケット No.1 に取付ける。

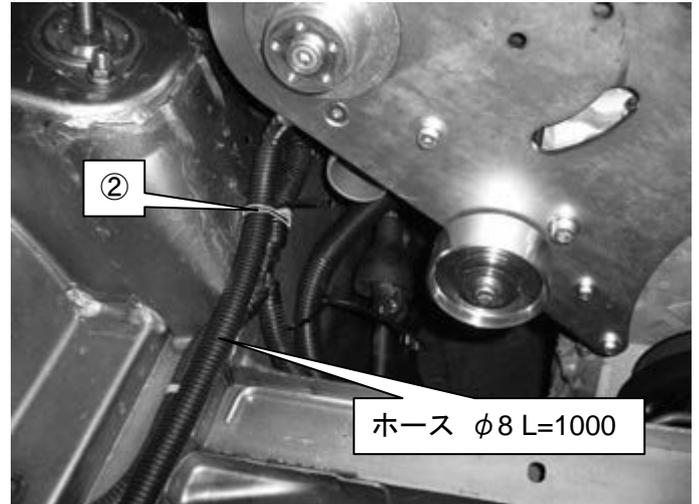
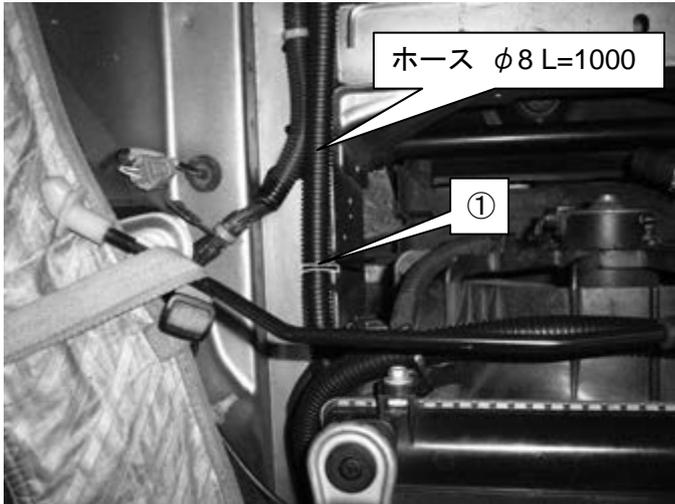
締付けトルク N·m(kgf·m)

T=29 (3.0)



(23) ホース φ8 L=1000 の図の部分、

- ①タイラップ小
 - ②タイラップ中
- を用いて固定する。



(24)ABS モジュレータ Assy の

- ①②③のボルトを取外す。

(25)(24)で外した①②のボルト部に、

④ABS モジュレータブラケット

⑤大径ワッシャー M6

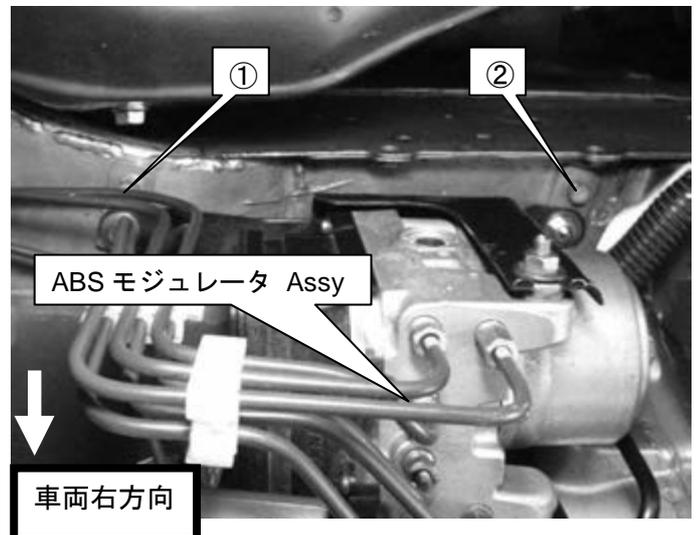
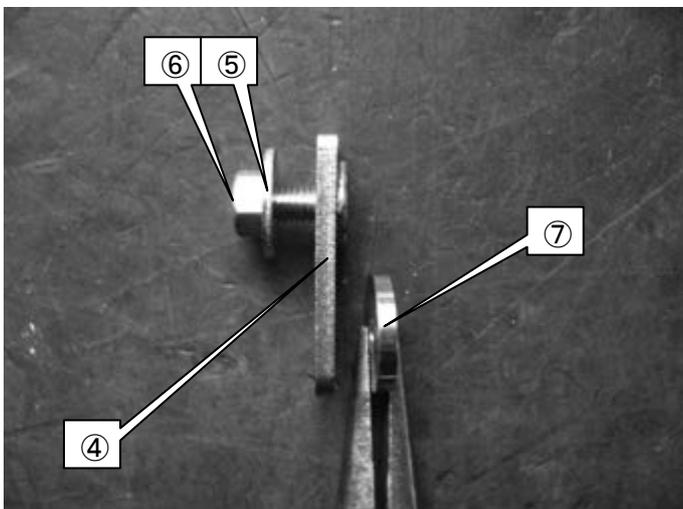
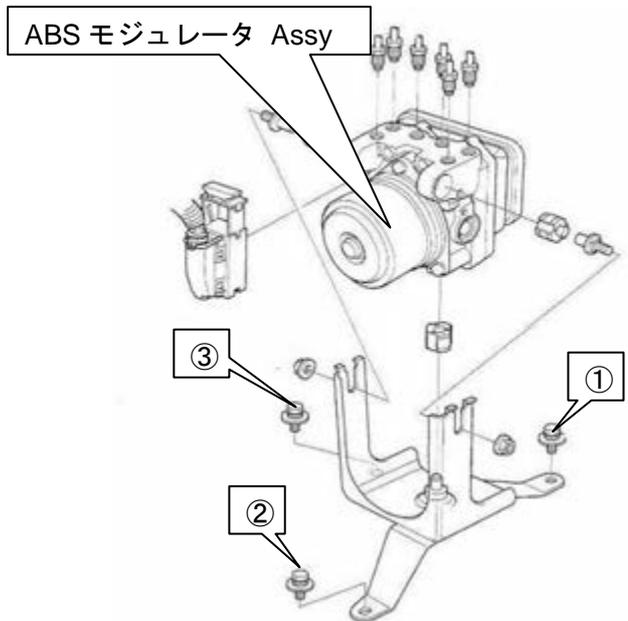
⑥ナット M6

⑦スペーサー M6 L=3

を挟み、

①②のボルトで車両と固定し、

ABS モジュレータ Assy を車両右方向に移動させる。



(26)スーパーチャージャー本体プーリーを

①キャップボルト M6 L=12

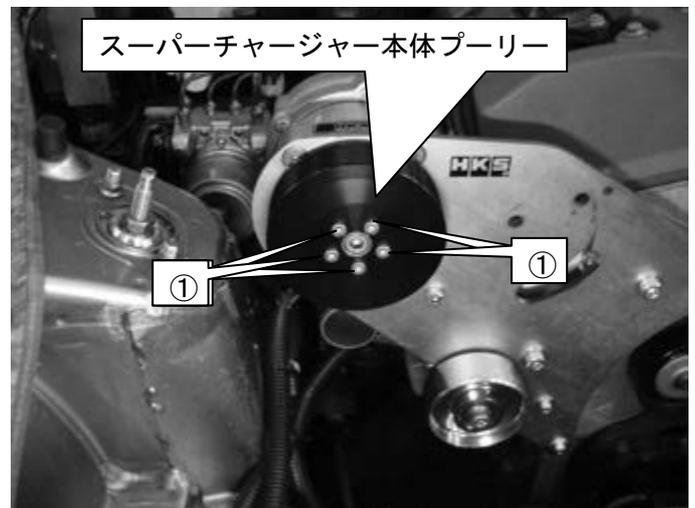
を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に取付ける。

アドバイス

・キャップボルトへキサゴンの締付けの際、スーパーチャージャー本体 Assy のセンターが回らないように六角レンチ等で回り止めをする。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=10 (1.02)

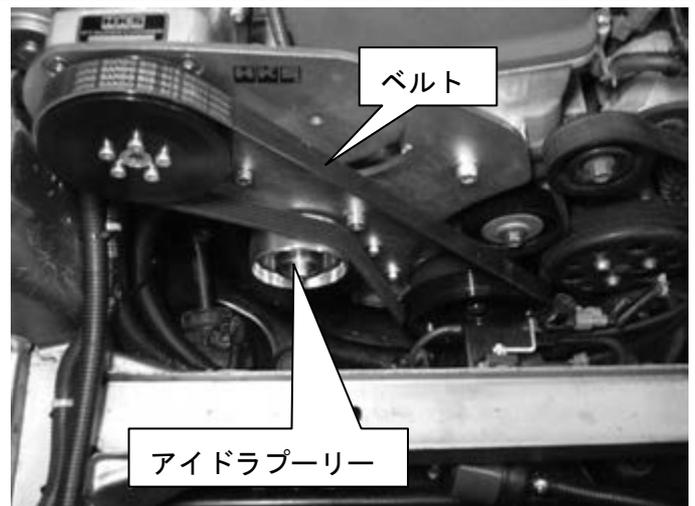


(27)図のようにベルトを取付ける。

アドバイス

・スーパーチャージャー本体プーリーの8リブの溝の真ん中にベルトが来るようにしてください。

・ベルトを取り付ける際、ベルトを暖める、またはアイドラプーリーを取外すと取付けやすくなります。



(28)ホース φ22 を 680mm と 100mm に切断する。

(29)ホース φ22 L=680 を

①ホースクリップ φ22 用

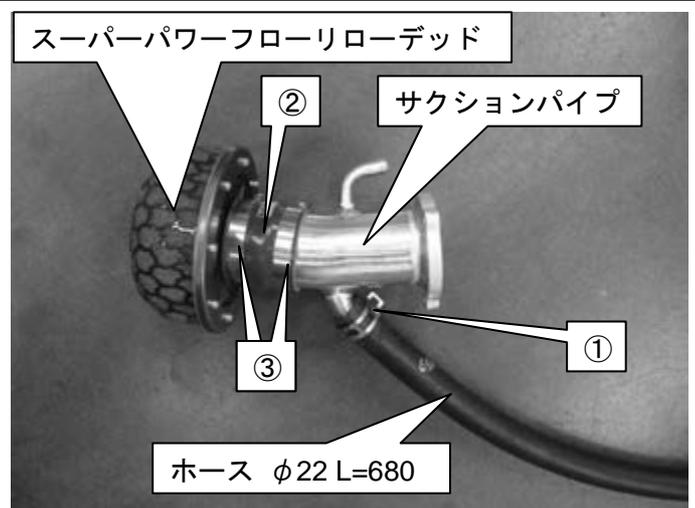
を用い、サクションパイプに取付ける。

(30)スーパーパワーフローリローデッドを

②シリコンホース φ60 L=55

③ホースバンド #36

を用い、サクションパイプに取付ける。



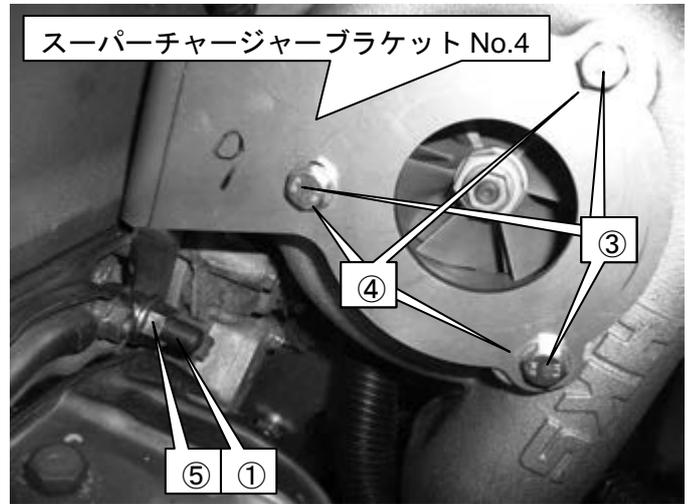
(31)エンジンに

①スタッドボルト

を取付ける

アドバイス

・スタッドボルトには向きがあります。
ネジ部の短いほうをエンジン側に取り付けてください。



(32)スーパーチャージャーブラケット No.4 を

②サクシオンパイプガスケット

③六角ボルト M6 L=15

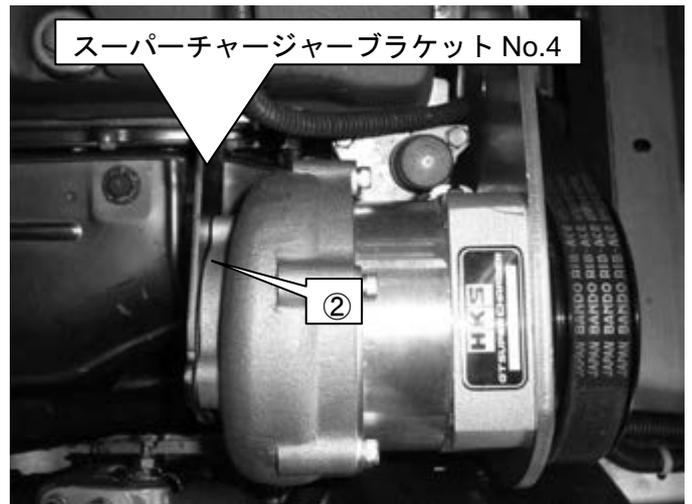
④ワッシャー M6

を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に仮付けする。

(33)仮付けしたスーパーチャージャーブラケット No.4 を

⑤フランジナット M10 (セレート有)

を用い、エンジンに取り付ける。



(34) スーパーチャージャーブラケット No.4 から
仮付けした際に使用した

③六角ボルト M6 L=15

④ワッシャー M6

を取外す。

アドバイス

・③六角ボルト M6 L=15・④ワッシャー M6 は再使用します。



・スーパーチャージャーブラケットNo.4はリストリクターを兼ねています。
リストリクターの取付けを間違えたり、取付け忘れりした場合エンジンが破損します。

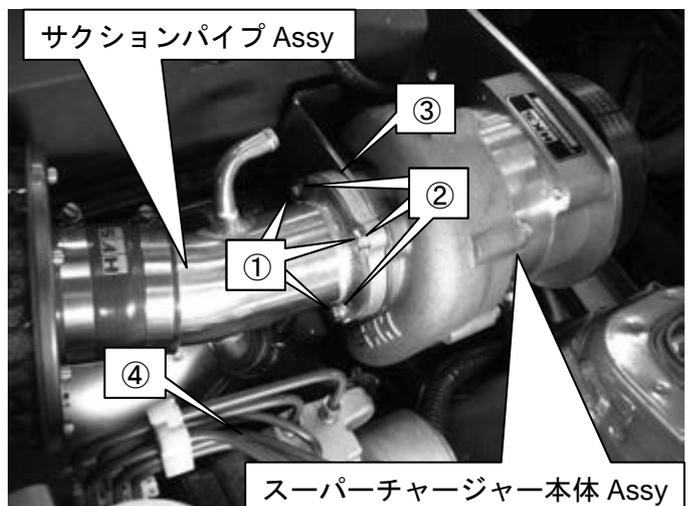
(35)サクシオンパイプ Assy を

①六角ボルト M6 L=25

②ワッシャー M6

③サクシオンパイプガスケット

を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に取付ける。



(36)各部と

④ABS モジュレータ Assy

のクリアランスが

10mm 以上あることを確認してください。

アドバイス

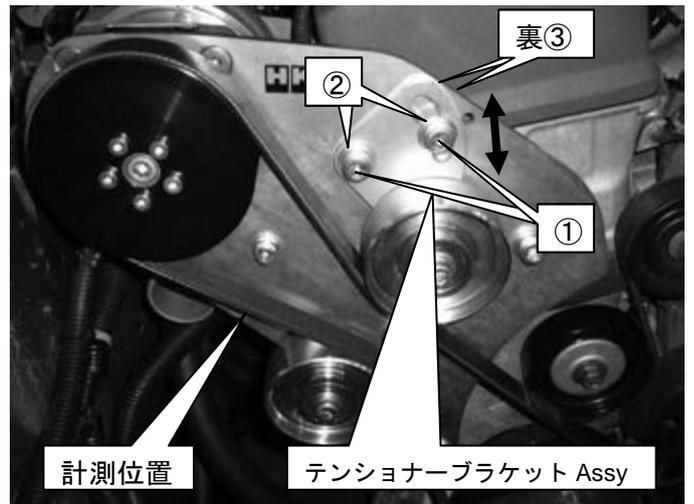
・クリアランスが確保できていない場合は、

ABS モジュレータ Assy のパイプを曲げ加工してクリアランスを確保してください。

(37)純正ブレーキマスターバキュームホースの角度をサクシヨンパイプ Assy に干渉しないように調整する。



(38)テンショナーブラケット Assy を
 ①キャップボルト M10 L=25
 ②ワッシャー M10
 ③フランジナット M10 (セレート無)
 を用い、
 スーパーチャージャーブラケット No.1Assy に取付ける。



(39)テンショナーブラケット Assy を上下させ、
 指定張力でベルトを張る。

計測位置	ベルトスパン※	指定張力 (N { kgf })
スーパーチャージャー本体プーリー・アイドラプーリー間	200mm	870{88.7}

※ベルトスパンは張力測定時に測定器に入力してください。

アドバイス

- ・ベルトの張力測定は冷間時に行う。
- ・ベルト取付け直後の張り点検は、基準値に調整後プーリー間張力のバラツキをなくすため、クランクシャフトを2回転以上回して再測定し、基準値に調整する。
- ・ベルトは使用開始後、使用状況により2~20時間で張力が安定するため指定張力になるように必ず点検・調整を行なう。使用開始直後はベルトの伸びも大きいため、こまめに点検、調整を行なう。
- ・ベルトが各プーリーの溝にしっかり合っているか確認する。

締付けトルク N・m(kgf・m)

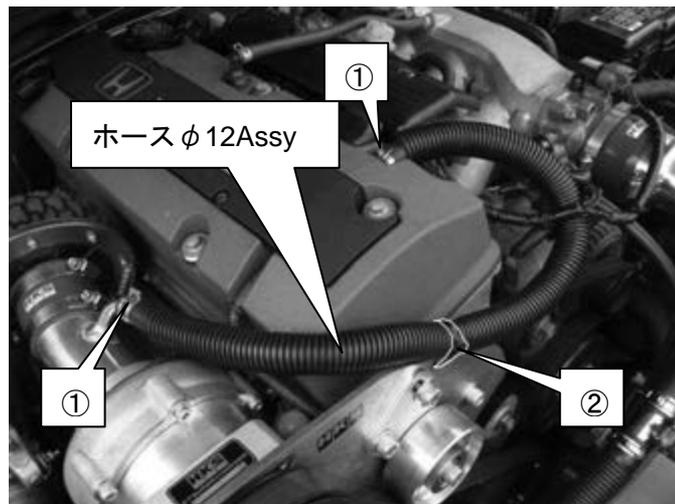
T=44 (4.5)

(40) コルゲートチューブ φ12用を 600mm に切断する。

(41)コルゲートチューブ φ12用を
ホース φ12 に取付ける。

(42)ホース φ12Assy を
①ホースクリップ φ12用
を用い、図のように取付ける。

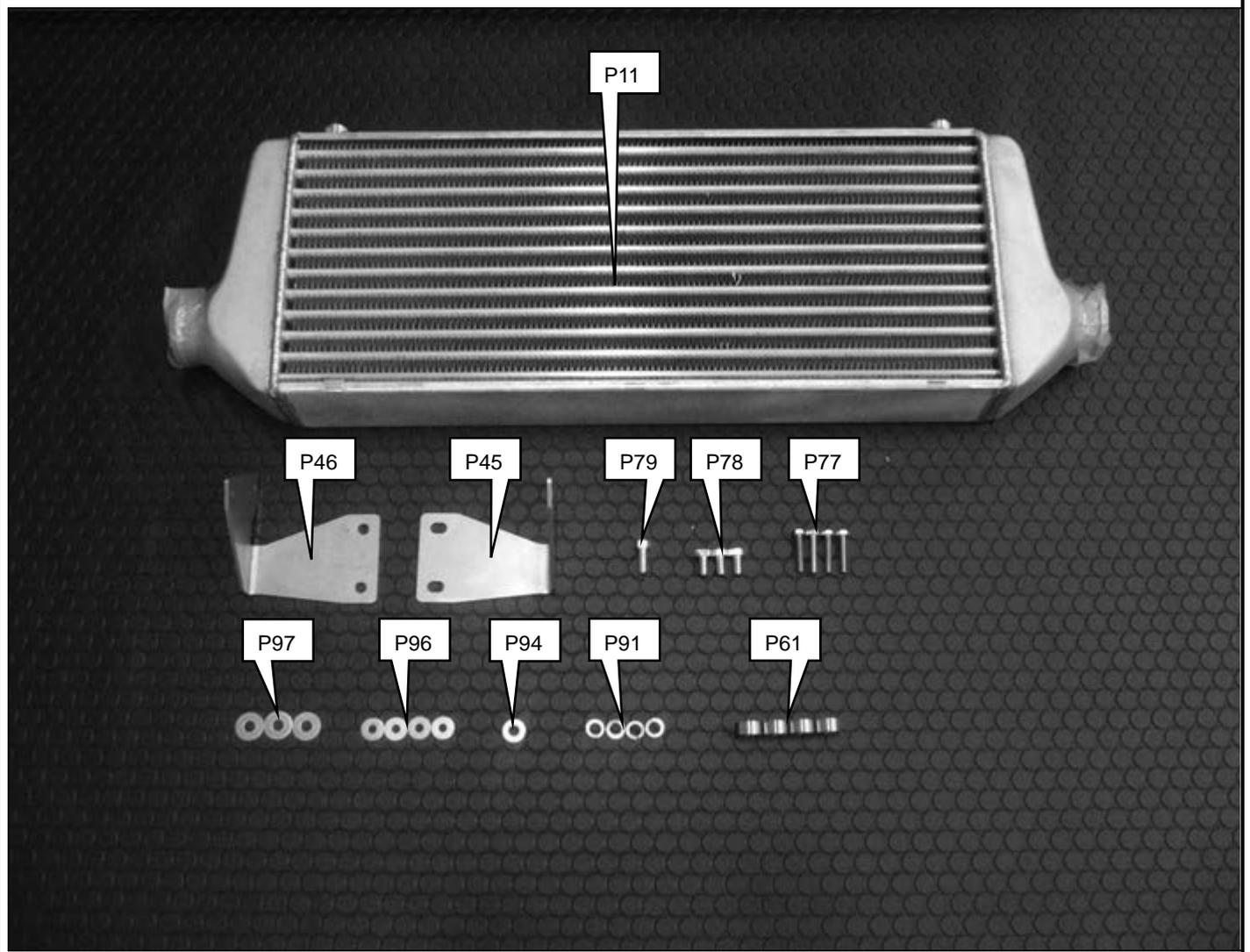
(43)ホース φ12Assy を
②タイラップ 大
を用い、固定する。



4. インタークーラー・パイピング取付け

・インタークーラー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P11	インタークーラー	1
P45	インタークーラーブラケット No.1	1
P46	インタークーラーブラケット No.2	1
P61	スペーサー M6 L=10	4
P77	六角ボルト M6 L=30	4
P78	六角ボルト M8 L=15	3
P79	六角ボルト M8 L=20	1
P91	スプリングワッシャー M8	4
P94	ワッシャー M8	1
P96	大径ワッシャー M6	4
P97	大径ワッシャー M8	3

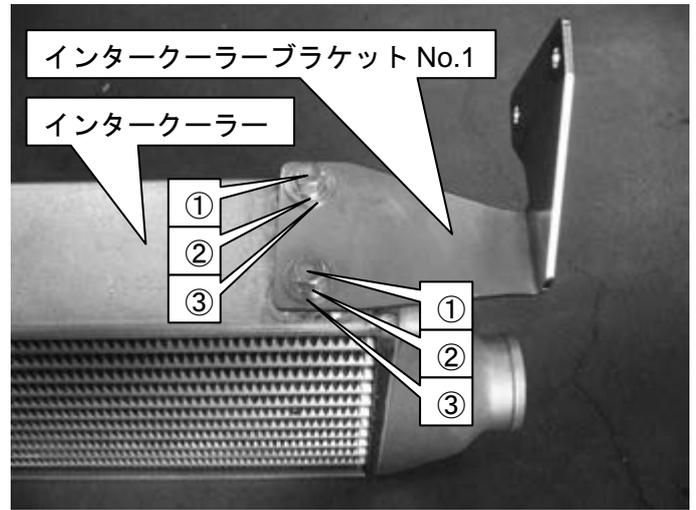
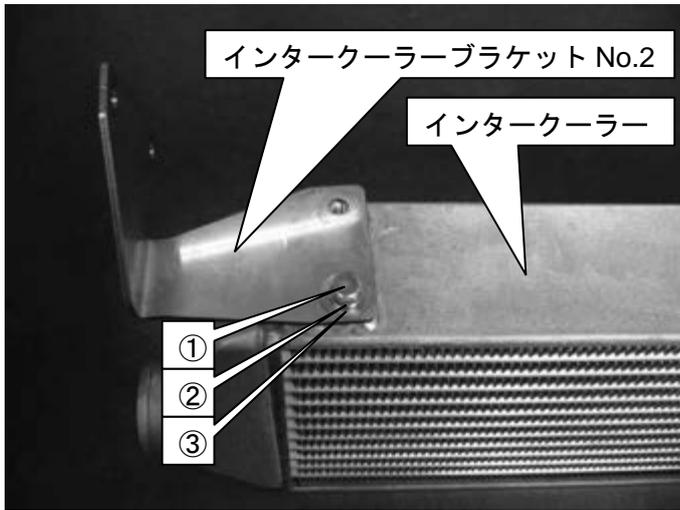
(1) インタークーラーに

① 六角ボルト M8 L=15

② スプリングワッシャー M8

③ 大径ワッシャー M8

を用い、インタークーラーブラケット No.1/No.2 を仮付けする。



(2) インタークーラー Assy を

① 六角ボルト M6 L=30

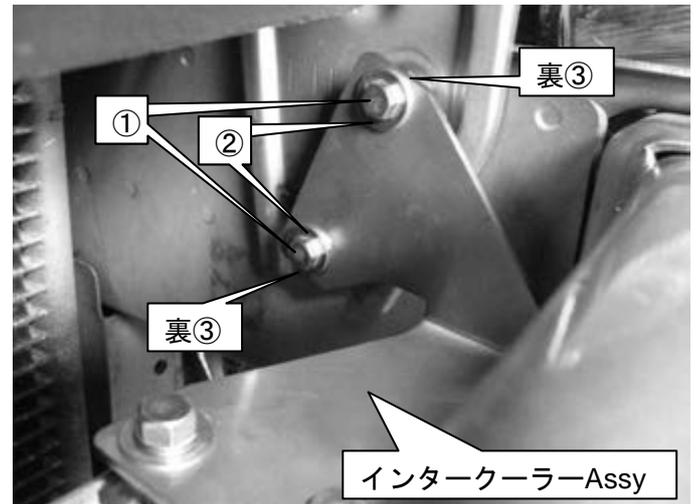
② 大径ワッシャー M6

③ スペーサー M6 L=10

を用い、車両に取付ける。

アドバイス

・インタークーラー Assy とエアコンパイプが干渉する場合は、干渉しないようにエアコンパイプを曲げてください。



(3) (1) で仮付けしたボルトを本付けする。

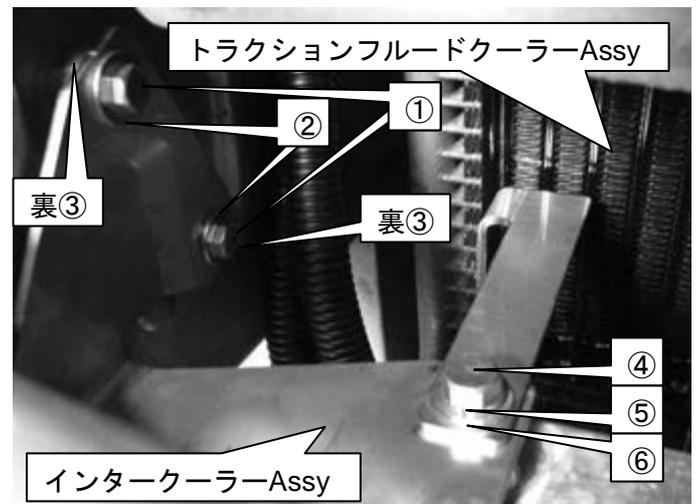
(4) トラクションフルードクーラー Assy を

④ 六角ボルト M8 L=20

⑤ スプリングワッシャー M8

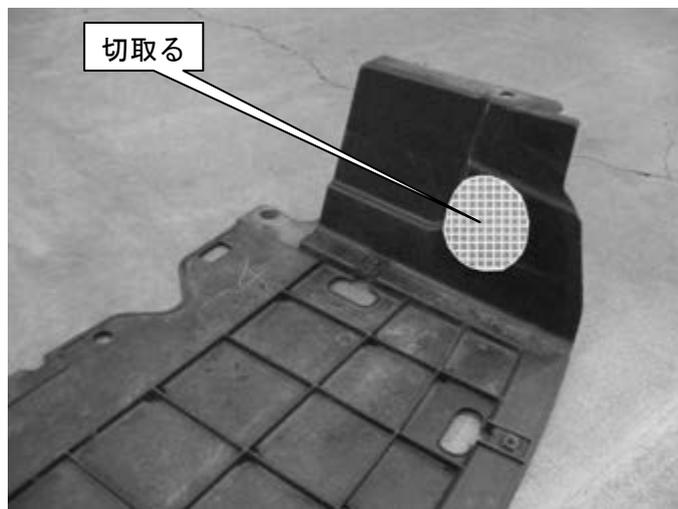
⑥ ワッシャー M8

を用い、インタークーラー Assy に取付ける。



(5)フロントアンダカバーの図の斜線部分を
インタークーラーと干渉しないように左右共に切取る。

(6)フロントアンダカバーを車両に取付ける。



(7) 仮付けしたトラクションフルードクーラーAssyの

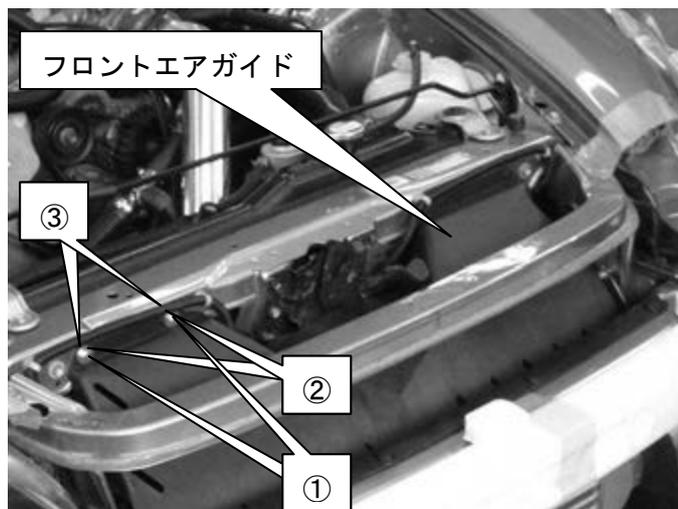
①六角ボルト M6 L=25

②大径ワッシャー M6

③スペーサー M6 L=4

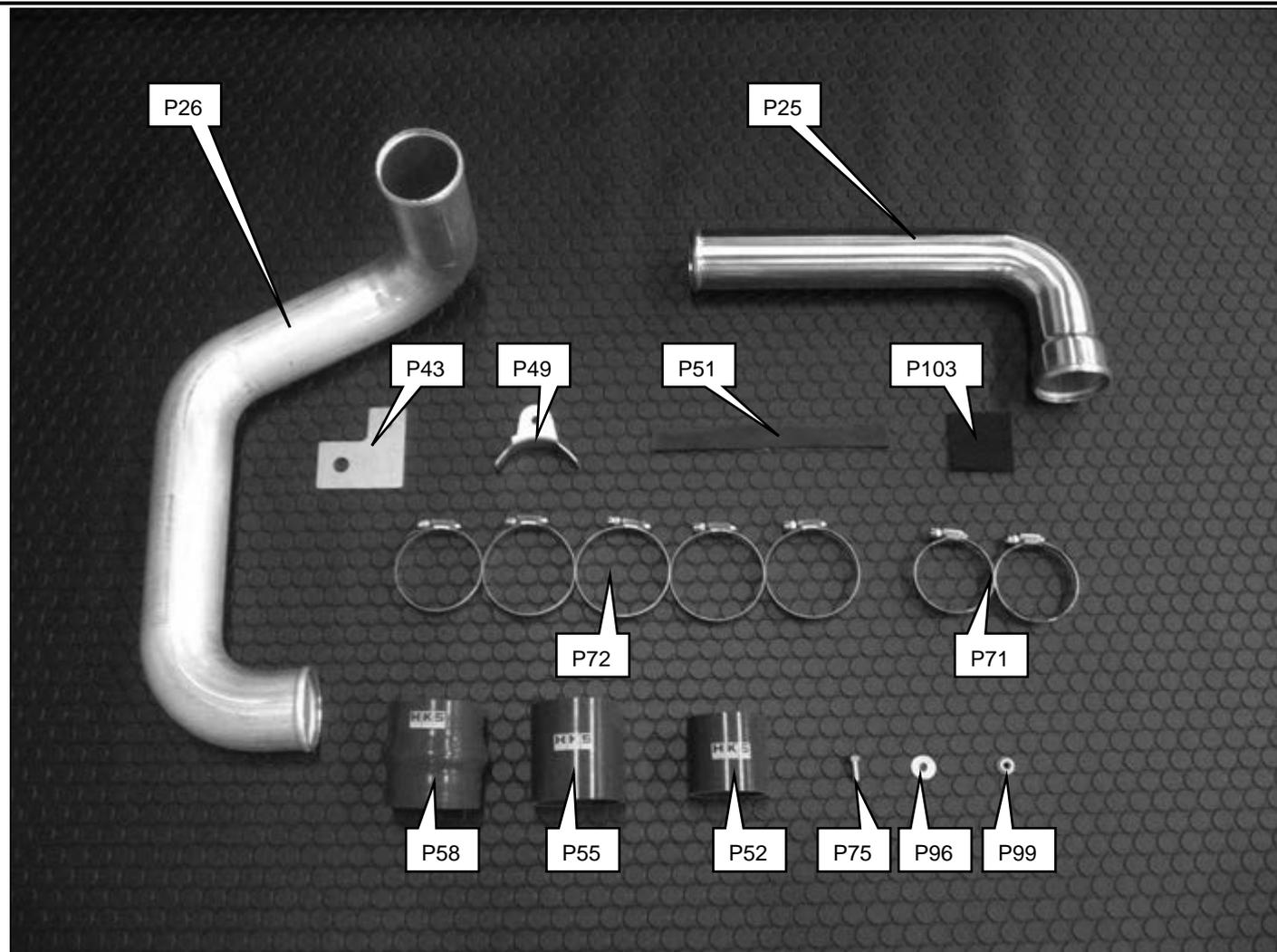
を取外し、

フロントエアガイドを取付けた後に再度取付ける。



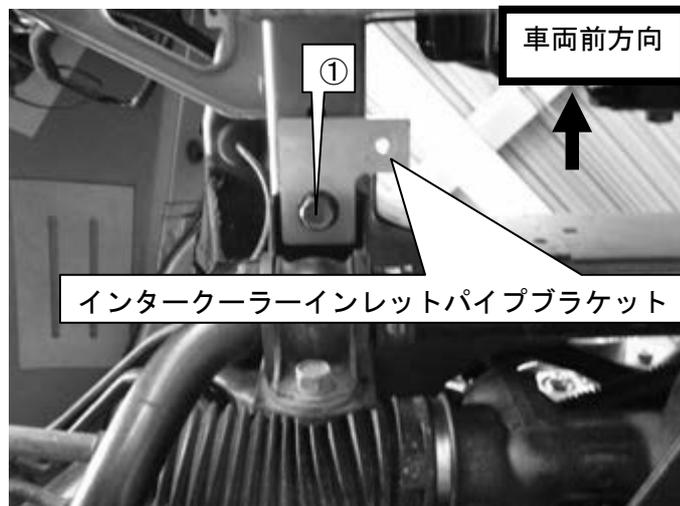
・インタークーラーインレットパイプ取付け

パーツリスト

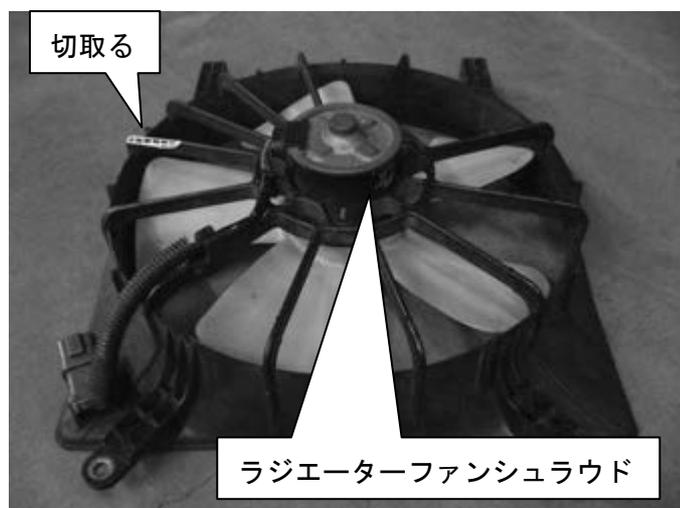


No.	品名	数量
P25	インタークーラーインレットパイプ No.1	1
P26	インタークーラーインレットパイプ No.2	1
P43	インタークーラーインレットパイプブラケット	1
P49	汎用パイプブラケット φ60 用	1
P51	インシュレーターラバー	1
P52	シリコンホース φ50 L=55	1
P55	シリコンホース φ60 L=70	1
P58	クッションホース φ60 L=75	1
P71	ホースバンド #28	2
P72	ホースバンド #36	5
P75	六角ボルト M6 L=15	1
P96	大径ワッシャー M6	1
P99	フランジナット M6	1
P103	スポンジシート	1

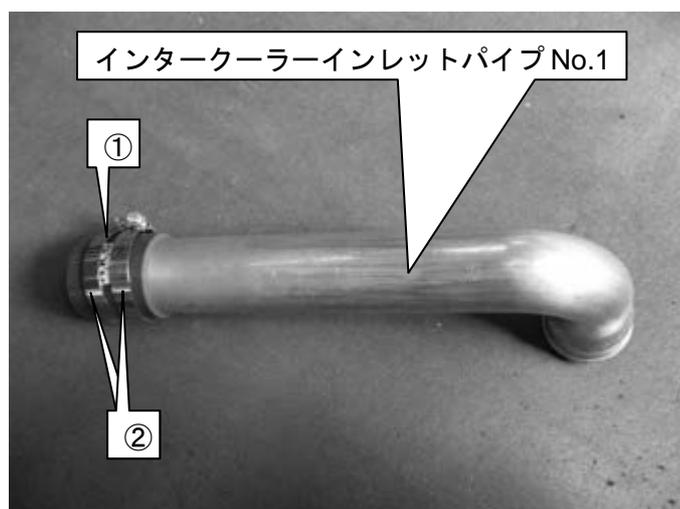
(7)インタークーラーインレットパイプブラケットを
①純正スタビライザーブラケット固定ボルト
に、共締めする。



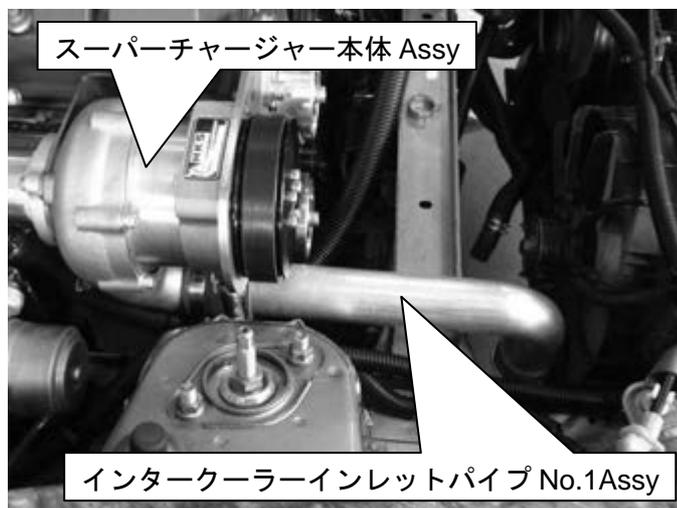
(8)ラジエーターファンシュラウドの図のメッシュ部分を切取る。



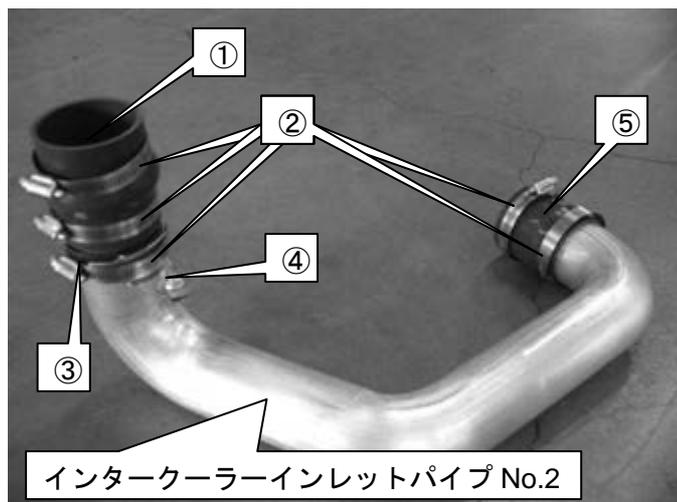
(9)インタークーラーインレットパイプ No.1 に
①シリコンホース φ50 L=55
②ホースバンド #28
を通す。



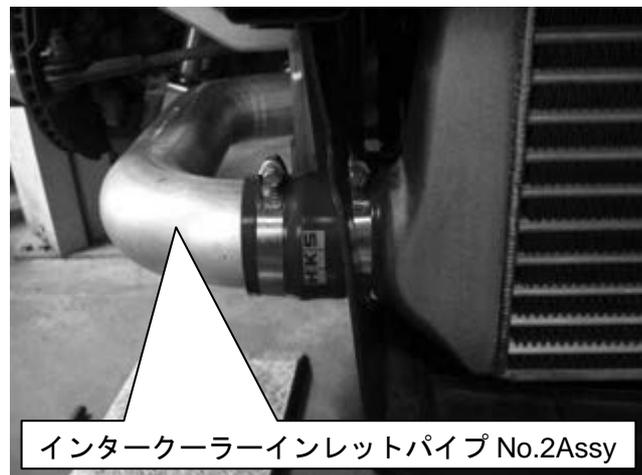
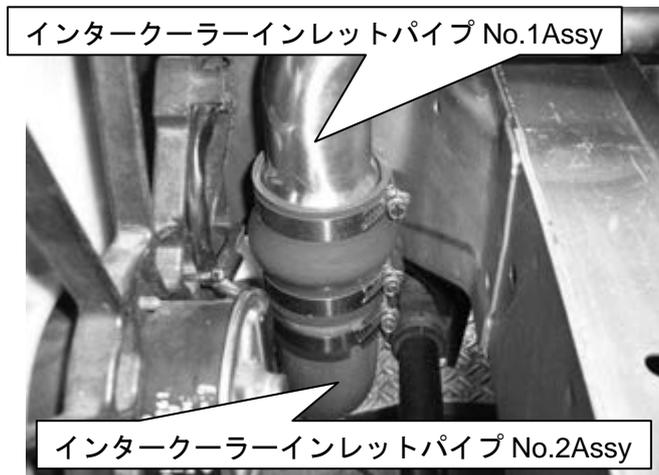
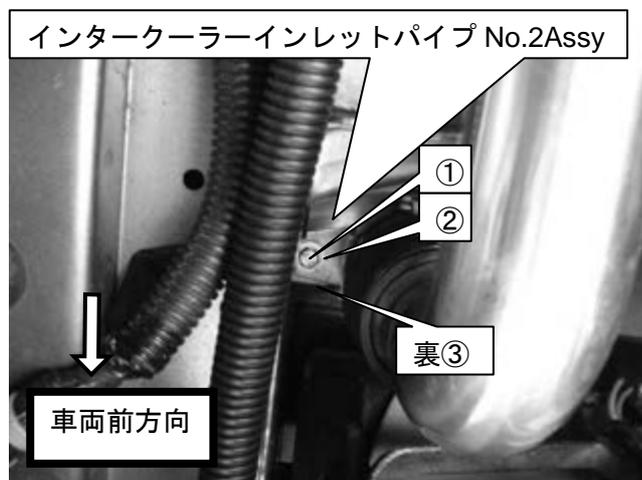
(10)インタークーラーインレットパイプ No.1Assy を
スーパーチャージャー本体 Assy に仮付けする。



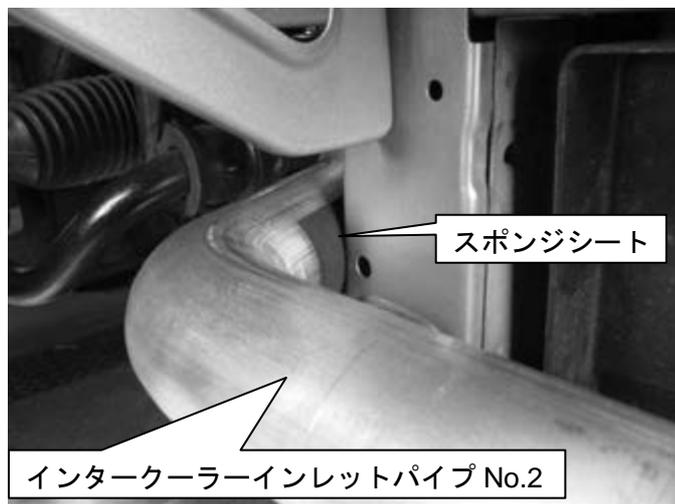
(11)インタークーラーインレットパイプ No.2 に
①クッションホース φ60 L=75
②ホースバンド #36
③インシュレーターラバー
④汎用パイプブラケット φ60 用
⑤シリコンホース φ60 L=70
を通す。



(12)インタークーラーインレットパイプ No.2Assy を
①六角ボルト M6 L=15
②大径ワッシャー M6
③フランジナット M6
を用い、車両に仮付けする。



(13) インタークーラーインレットパイプ No.2 とラジエターコアサポートの接近部分にスポンジシートを貼り付ける。

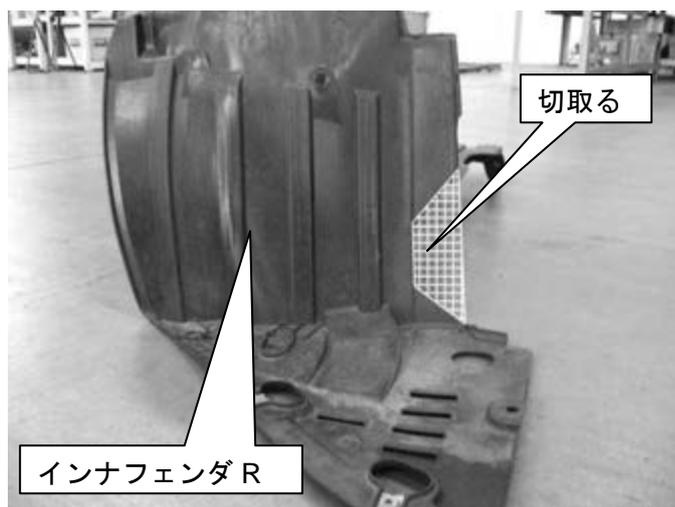


(15) インタークーラーインレットパイプ No.1・No.2 の位置出しをして、仮付けしたボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

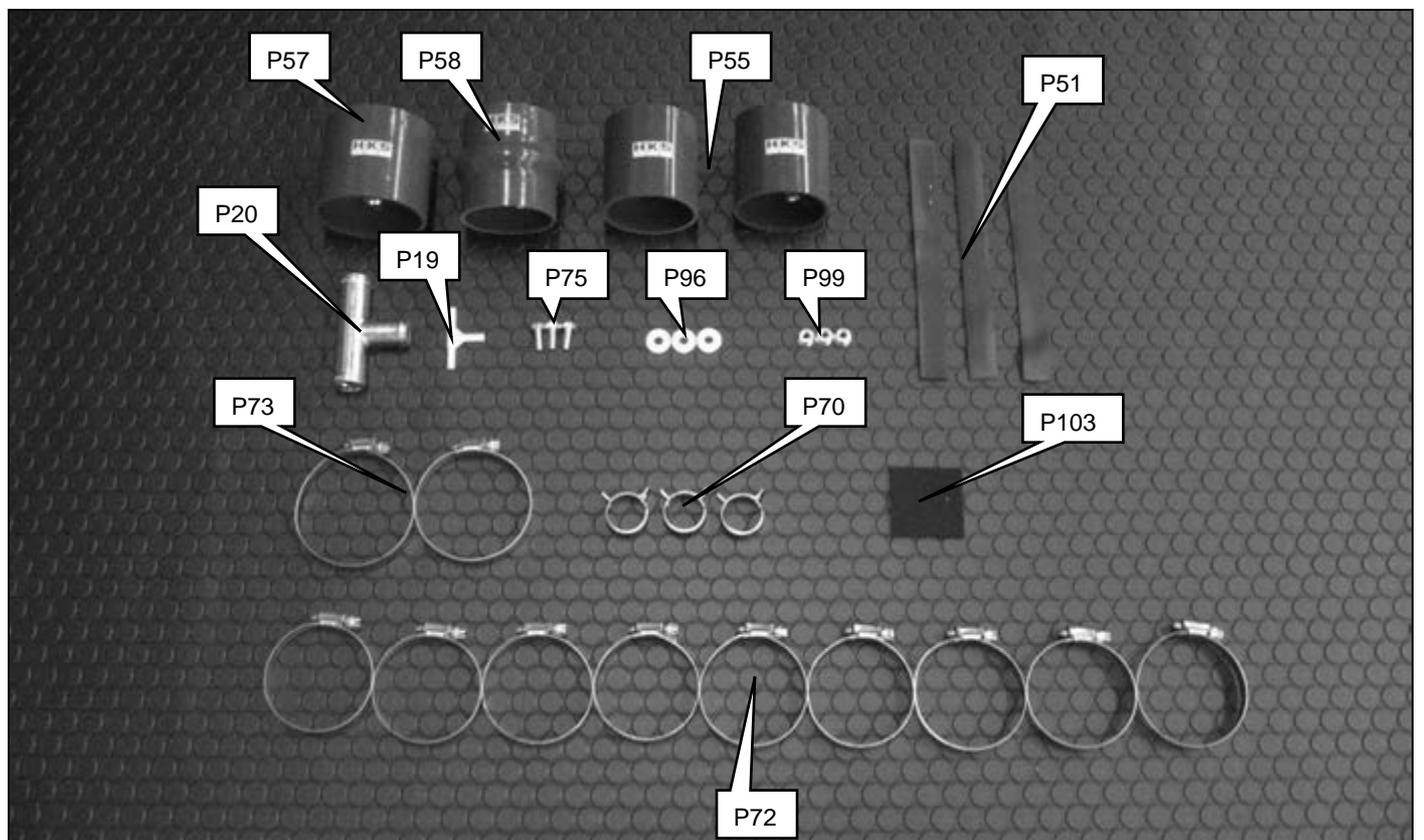
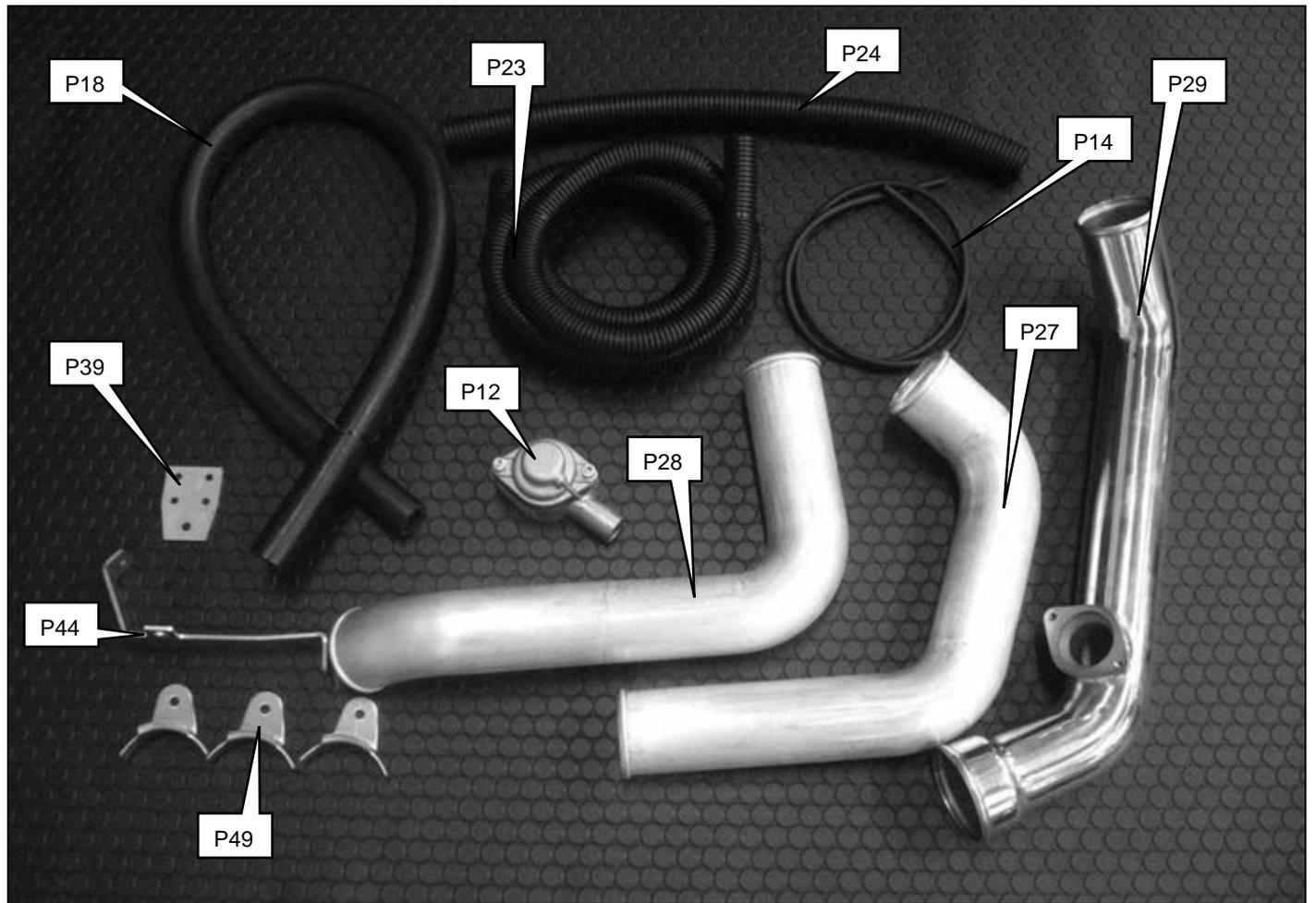
- ・取付けたパイプが車両と干渉していないか確認する。

(16) インナフェンダ R の図のメッシュ部分をパイプと干渉しないように切取る。



・インタークーラーアウトレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P12	リリーフバルブ Assy	1
P14	ホース φ4	1
P18	ホース φ22	1(再使用)
P19	スリーウェイ φ4-φ4-φ4	1
P20	スリーウェイ φ22-φ19-φ22	1
P23	コルゲートチューブ φ12 用	1(再使用)
P24	コルゲートチューブ φ22 用	1
P27	インタークーラーアウトレットパイプ No.1	1
P28	インタークーラーアウトレットパイプ No.2	1
P29	インタークーラーアウトレットパイプ No.3	1
P39	トラクションフルードフィルターブラケット	1
P44	インタークーラーアウトレットパイプブラケット	1
P49	汎用パイプブラケット φ60 用	3
P51	インシュレーターラバー	3
P55	シリコンホース φ60 L=70	2
P57	シリコンホース φ70 L=70	1
P58	クッションホース φ60 L=75	1
P70	ホースクリップ φ22 用	3
P72	ホースバンド #36	9
P73	ホースバンド #40	2
P75	六角ボルト M6 L=15	3(再使用)
P96	大径ワッシャー M6	3
P99	フランジナット M6	3
P103	スポンジシート	1

(18)コルゲートチューブ φ12用を、350mm・250mmに切断する。

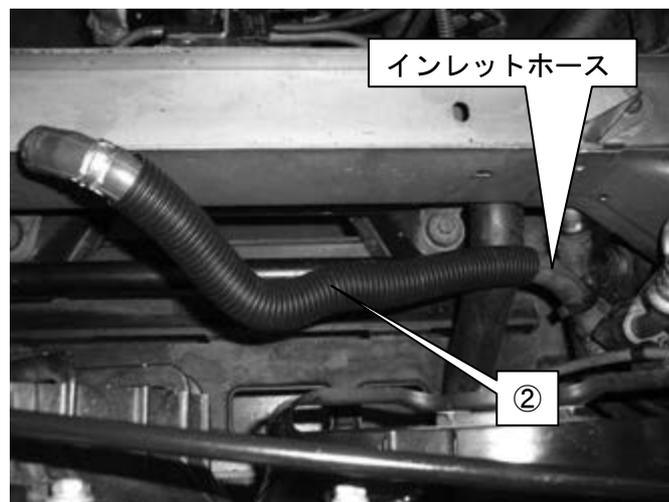
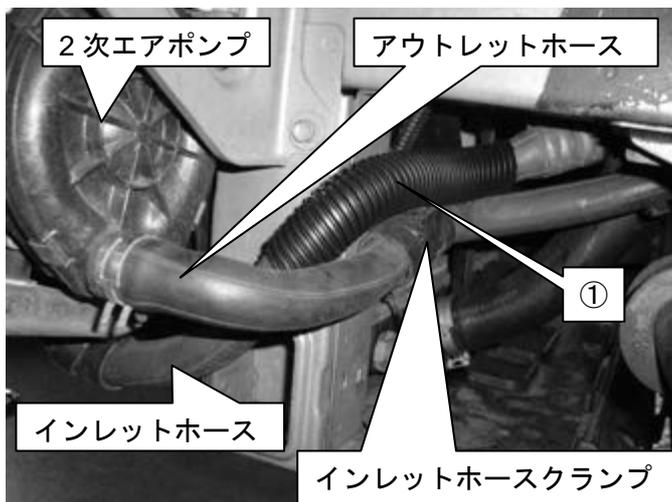
(19)①コルゲートチューブ φ12用 L=250

②コルゲートチューブ φ12用 L=350

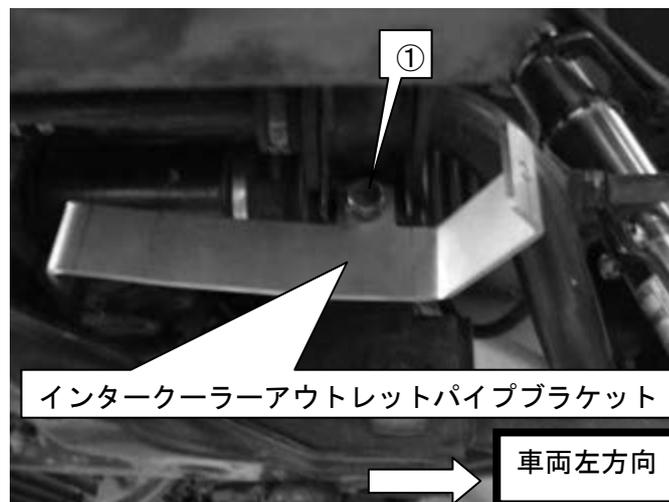
を2次エアポンプのインレットホースに取付ける。

(20)2次エアポンプのアウトレットホースを図のようにインレットホースクランプに固定する。

(21)2次エアポンプのインレットホースを図のようにレイアウトする。

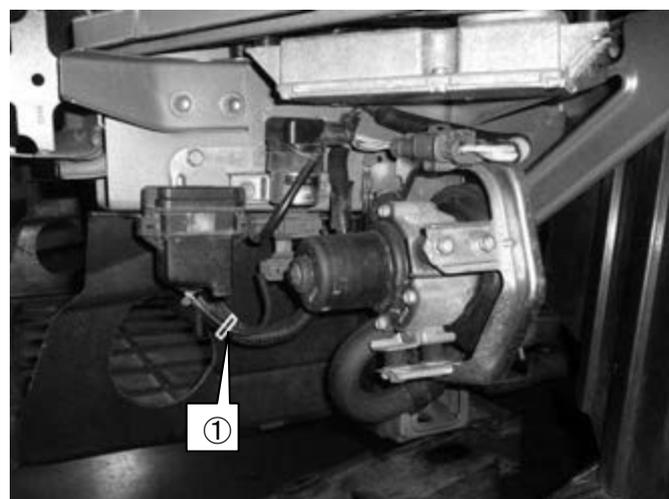


(22)インタークーラーアウトレットパイプブラケットを
①純正スタビライザーブラケット固定ボルト
に、共締めする。



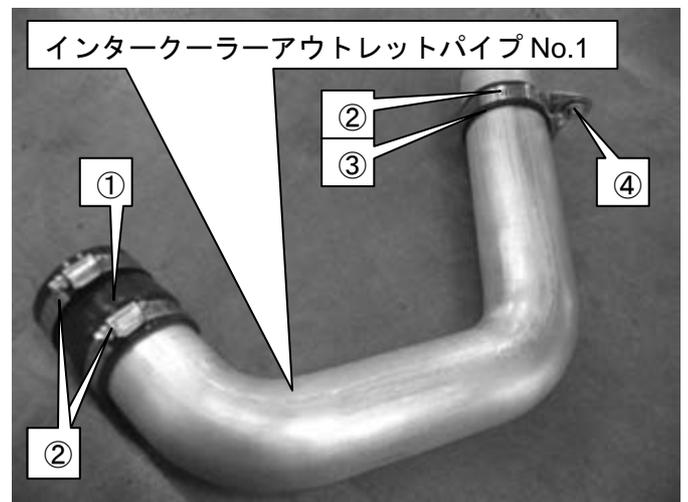
(23)2次エアポンプハーネスがパイプと
干渉しないように

①タイラップ 小
を用い、固定する。



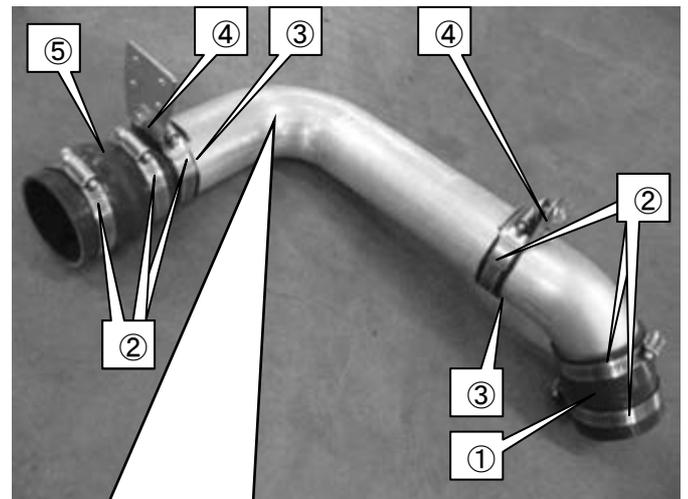
(24)インタークーラーアウトレットパイプ No.1 に

- ①シリコンホース φ60 L=70
 - ②ホースバンド #36
 - ③インシュレーターラバー
 - ④汎用パイプブラケット φ60 用
- を通す。



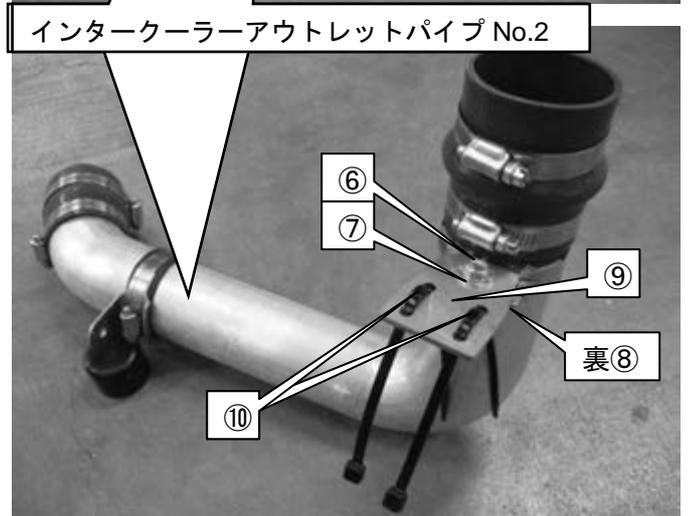
(25)インタークーラーアウトレットパイプ No.2 に

- ①シリコンホース φ60 L=70
 - ②ホースバンド #36
 - ③インシュレーターラバー
 - ④汎用パイプブラケット φ60 用
 - ⑤クッションホース φ60 L=75
- を通す。



(26) インタークーラーアウトレットパイプ No.2 に

- ⑥六角ボルト M6 L=15
 - ⑦大径ワッシャー M6
 - ⑧フランジナット M6
 - ⑨トラクションフルードフィルターブラケット
- を仮付けし、
- ⑩タイラップ 大
- を通す。



(27)インタークーラーアウトレットパイプ No.1/No.2 を

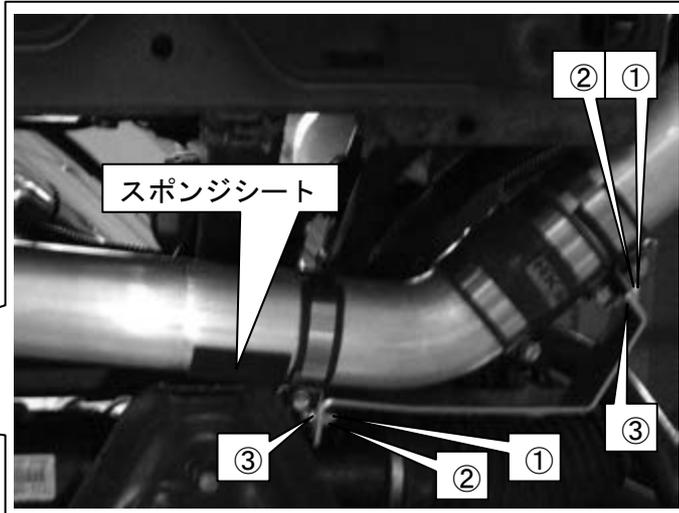
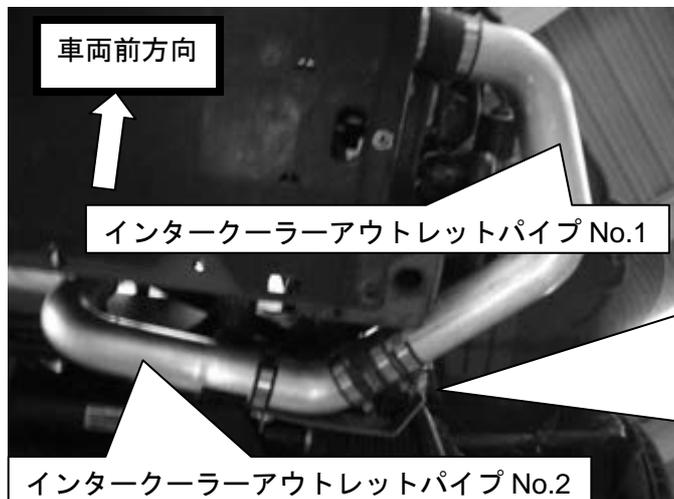
①六角ボルト M6 L=15

②大径ワッシャー M6

③フランジナット M6

を用い、車両に仮付けする。

(28)インタークーラーアウトレットパイプ No.2 とサスメンバーの接近部分にスポンジシートを貼り付ける。



(29)リリーフバルブ Assy 内のガスケットを間に挟み、インタークーラーアウトレットパイプ No.3 にリリーフバルブ Assy を取付ける。

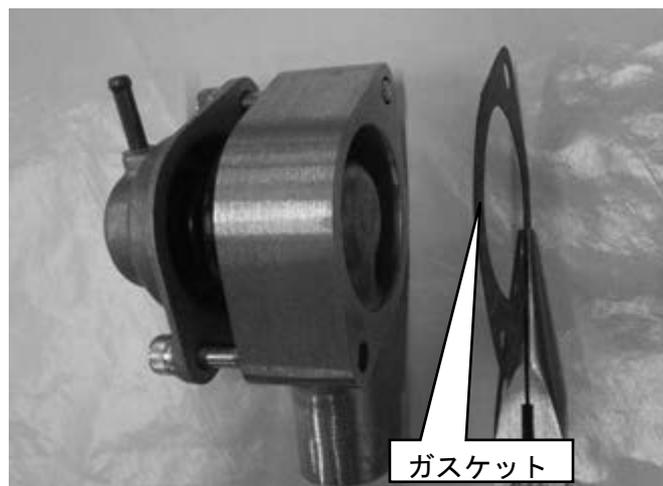
(30)リリーフバルブ Assy に

①ホース $\phi 22$ L=100mm

②ホースクリップ $\phi 22$ 用

③スリーウェイ $\phi 22$ - $\phi 19$ - $\phi 22$

を取付ける。

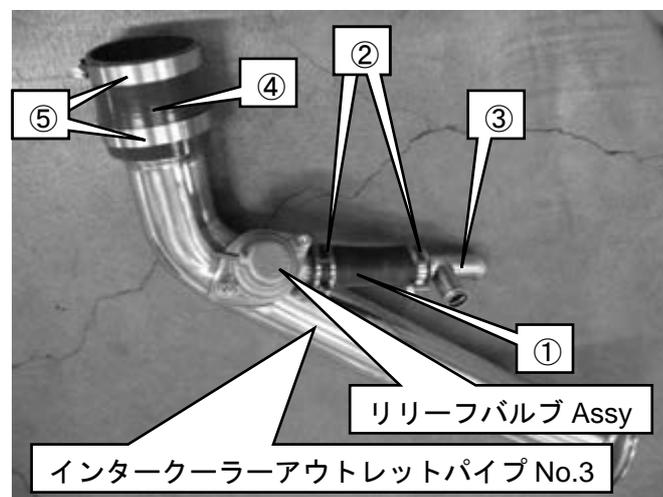


(31)インタークーラーアウトレットパイプ No.3 に

④シリコンホース $\phi 70$ L=70

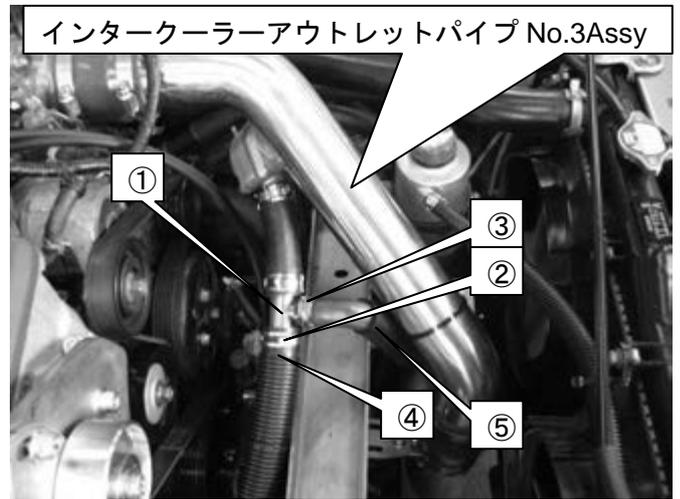
⑤ホースバンド #40

を通す。



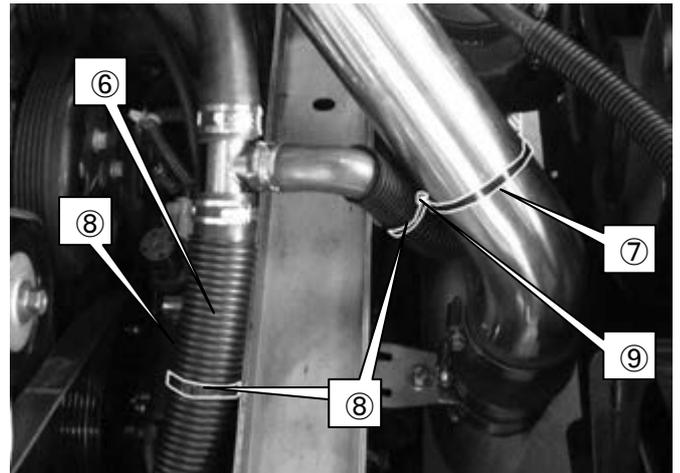
(32) インタークーラーアウトレットパイプ No.3Assy を車両に仮付けする。

(33) ①スリーウェイ φ22-φ19-φ22 を
②ホースクリップ φ22 用
③純正ホースクリップ φ19 用
を用い、
④ホース φ22 L=680
⑤純正 2 次エアポンプインレットホース
と接続する。



(34) ④ホース φ22 L=680 に
⑥コルゲートチューブ φ22 用を取付ける。

(35) ④ホース φ22 L=680 を
⑧タイラップ 中
を用い、純正バキュームタンクブラケットと固定する。



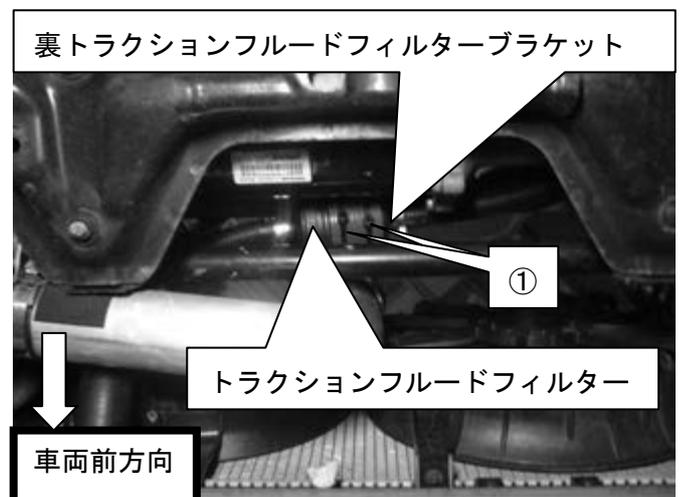
(36) ⑤純正 2 次エアポンプインレットホースを
⑦タイラップ 大
⑧タイラップ 中
⑨タイラップ 小
を用い、インタークーラーアウトレットパイプ No.3Assy と固定する。

(37) インタークーラーアウトレットパイプ No.1・No.2・No.3 の位置出しをして、仮付けしたボルト・ホースバンドを本締めする。

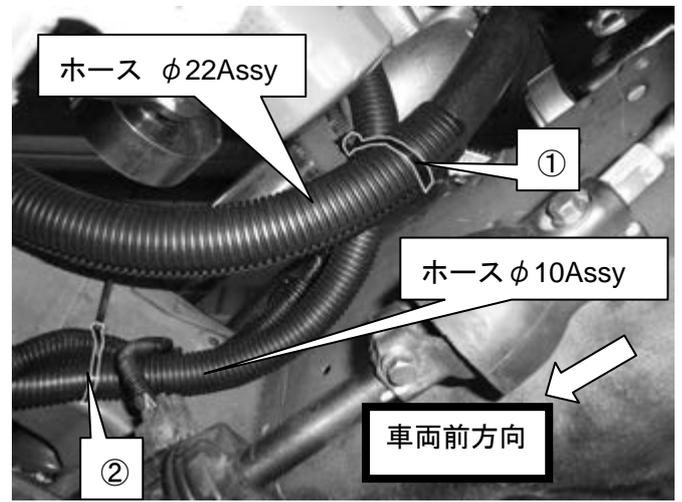
アドバイス

- ・ 取付けたパイプが車両と干渉していないか確認する。

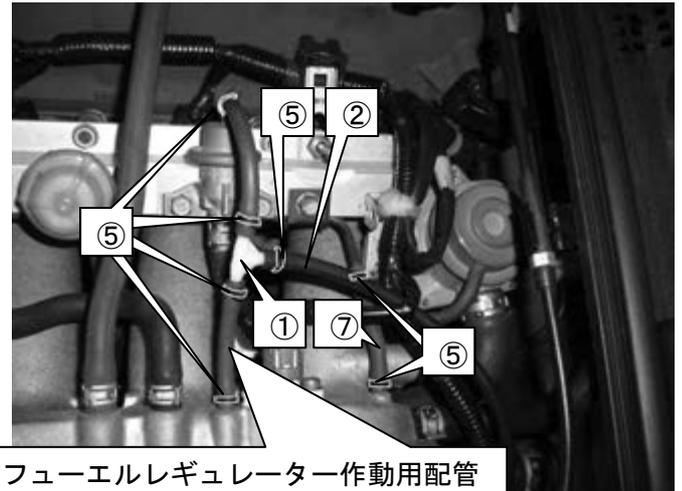
(38) トラクションフルードフィルターを
①タイラップ 大
を用い、
トラクションフルードフィルターブラケットに固定する。



(39)図のようにホース φ22Assy、ホースφ10Assy を
 ①タイラップ 大
 ②タイラップ 中
 で固定する。

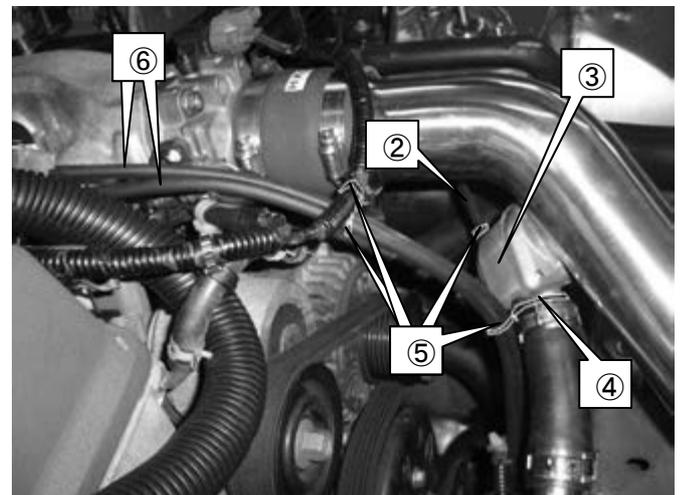


(40)純正フューエルレギュレーター作動用配管を切断し、
 ①スリーウェイ φ4-φ4-φ4
 を接続する。

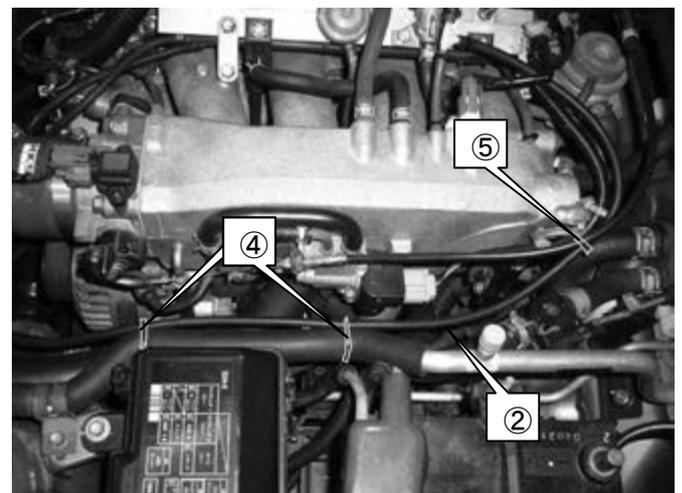


(41)①スリーウェイ φ4-φ4-φ4 に
 ②ホース φ4 L=1000
 を接続する。

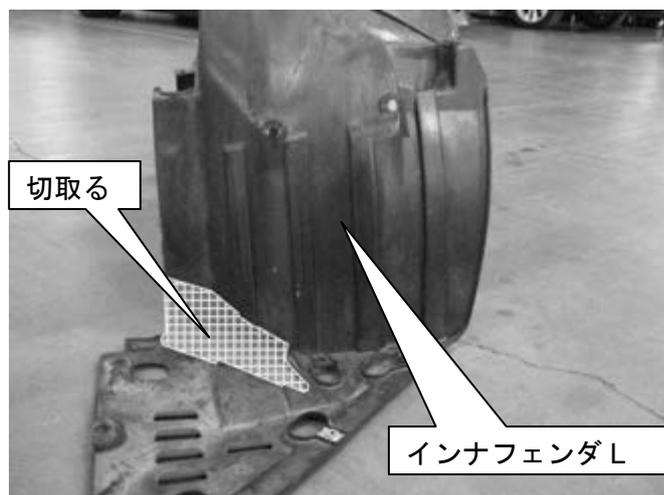
(42)②ホース φ4 L=1000 を
 ③リリーフバルブ Assy
 に接続し、
 ④タイラップ 中
 ⑤タイラップ 小
 を用い、固定する。



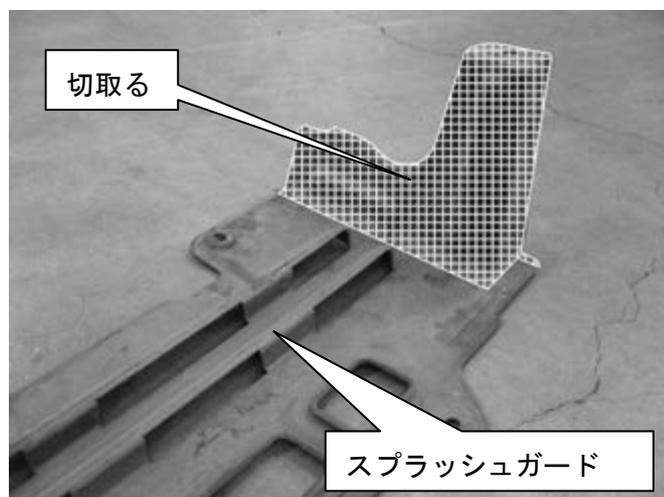
(43)⑥ホース φ4 L=500 ・
 ⑦純正 2 次エアコントロール SOL.V.配管を
 ④タイラップ 中
 ⑤タイラップ 小
 を用い、固定する。



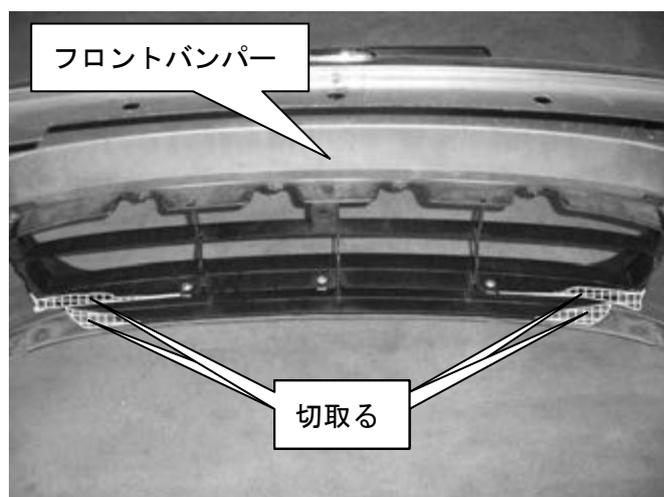
(44) インナフェンダ L の図のメッシュ部分をパイプと干渉しないように切取る。



(45) スプラッシュガードの図のメッシュ部分を左右共にパイプと干渉しないように切取る。



(46) フロントバンパーの図のメッシュ部分をインタークーラーと干渉しないように切取る。



5. ノーマルパーツ取付け

整備要領書に従って作業を行なう。

- (1)加工したスプラッシュガードを取付ける。
- (2)加工したインナフェンダRを取付ける。
- (3)加工したインナフェンダLを取付ける。
- (4)加工したフロントバンパーを取付ける。
- (5)バッテリーのマイナス端子を接続する。

6. トラクションフルード注入

パーツリスト



No.	品名	数量
P4	トラクションフルード	1

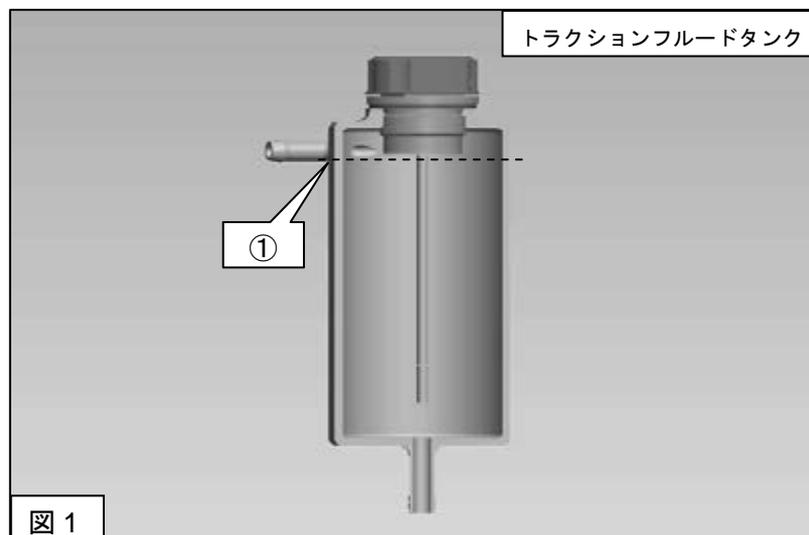


注意

スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。

トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
作業を行ってください。

(1) トラクションフルードタンク内に異物が無い事を確認し、トラクションフルードを
図1 ①のトラクションフルードタンク内のリターンパイプの穴位置まで注入してください。



7. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	トラクションフルードの漏れはないか。	
3	取付けた部品が各部に干渉していないか。	
4	ベルトは張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションフルードがレベルゲージの①マーキングレベルまであるか。(図5)	
7	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
8	ホースバンドが確実に締まっているか。	
9	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
10	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に約 80cc 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

1. トラクションフルードタンクのトラクションフルードレベルが下がり始め、トラクションフルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認してください。
2. トラクションフルードタンク内のトラクションフルードが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足してください。その際、トラクションフルードタンクからあふれないようにしてください。

アドバイス

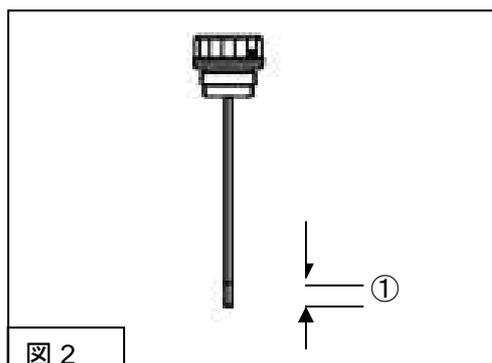
・エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャーAssy から“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まる約 2～3 分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドル回転)

	確認項目	確認
1	オイルタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
3	トラクションフルード、エアの漏れはないか。	
4	ホース類が引っ張られていないか。	
5	部品による干渉音が無いか。	

(5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 2000rpm まであげて 10 秒間維持してください。10 秒経過後エンジンを停止し、トラクションフルードがレベルゲージのマーキングレベル(図 2 ①) まであるか確認し、過不足を調整してください。



※残ったトラクションフルードはトラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

(6) トラクションフルードタンクのキャップを閉める。



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

<http://www.hks-power.co.jp/>